

令和7年度
釧路市標準学力検査
 ～結果と指導改善のポイント～
 令和8年2月 釧路市教育委員会

◆実施状況

1 検査の目的

- (1) 児童生徒の学力の現状や課題を、全市的な規模で的確かつ客観的に把握・分析することによって、学力向上に関する教育施策の成果と課題を検証し、より効果的な改善を図る。
- (2) 各学校が目標値及び市の状況との関係において、自校における学力向上に関する教育活動の成果と課題を分析し、学習指導の工夫・改善を図る。
- (3) 各学校において、児童生徒一人一人の学力の定着状況を的確に把握し、指導に生かすとともに、補足的指導や個に応じたきめ細かな指導の充実を図る。

2 実施内容及び対象学年

(1) 教科に関する検査

実施教科は、国語、算数・数学の2教科とする。なお、出題範囲は、該当学年の概ね11月までの学習内容とする。

① 釧路市立の小・中学校及び義務教育学校の原則として以下の学年の全児童生徒を対象とする。

- (ア) 小学校 第3・4・5・6学年
- (イ) 中学校 第1・2学年
- (ウ) 義務教育学校 第3・4・5・6・7・8学年

② 特別支援学級に在籍している対象児童生徒における検査の実施については、各学校の判断により、以下のとおり取り扱うことを可能とする。

- (ア) 児童生徒の障害の種類や程度に応じて、検査時間の延長、別室の設定などの配慮をすること。
- (イ) 下学年の内容などに代替して指導を受けている児童生徒や、知的障害者である児童生徒に対する教育を行う特別支援学校の教科の内容の指導を受けている児童生徒は、原則として検査対象としないこと。

(2) 生活行動・学習活動調査

上記①、②のうち以下の学年の児童生徒を対象とし、学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する意識調査を実施する。

- (ア) 小学校 第6学年
- (イ) 中学校 第1・2学年
- (ウ) 義務教育学校 第6・7・8学年

3 実施校数

釧路市立学校（小学校25校，中学校14校，義務教育学校1校）

4 実施人数

対象学年	在籍者数	受検者数			受検率		
		国語	算数・数学	生活・学習	国語	算数・数学	生活・学習
小学校3年生及び義務教育学校3年生	916人	864人	866人		94.3%	94.5%	
小学校4年生及び義務教育学校4年生	961人	897人	894人		93.3%	93.0%	
小学校5年生及び義務教育学校5年生	982人	909人	910人		92.6%	92.7%	
小学校6年生及び義務教育学校6年生	1014人	954人	954人	950人	94.1%	94.1%	93.7%
小学校計	3873人	3624人	3624人	950人	93.6%	93.6%	93.7%
中学校1年生及び義務教育学校7年生	987人	822人	824人	826人	83.3%	83.5%	83.7%
中学校2年生及び義務教育学校8年生	1085人	896人	896人	891人	82.6%	82.6%	82.1%
中学校計	2072人	1718人	1720人	1717人	82.9%	83.0%	82.9%

※在籍者数は令和7年5月1日現在

I 本市の状況 ～概要～

1 各学年・教科の平均正答率の状況

(1) 小学校及び義務教育学校前期課程

単位 (%)

学 年	教 科	釧路市	全国平均	同一集団前年度からの伸び(*)	全国平均比較
3年生	国 語	75.5	76.7	未実施	-1.2
	算 数	71.5	72.7	未実施	-1.2
4年生	国 語	73.4	70.4	-1.0	+3.0
	算 数	71.3	65.7	+2.8	+5.6
5年生	国 語	73.1	69.1	+3.2	+4.0
	算 数	66.1	62.0	+0.5	+4.1
6年生	国 語	72.4	70.8	-0.7	+1.6
	算 数	75.2	73.1	-1.8	+2.1

(2) 中学校及び義務教育学校後期課程

単位 (%)

1年生	国 語	64.3	63.0	+1.1	+1.3
	数 学	57.2	57.0	-4.8	+0.2
2年生	国 語	68.5	70.2	-2.0	-1.7
	数 学	48.9	50.5	+1.6	-1.6

* 「同一集団前年度からの伸び」は、同一集団における昨年度（R5）の「全国平均比較」と今年度（R6）の「全国平均比較」を比較して、どれだけ伸びたのかを示したものです。

2 観点別平均正答率の状況

正答率が全国平均に対し、+5ポイント以上の場合：☆☆，+5ポイント未満+3ポイント以上の場合：☆，
-3ポイント未満-5ポイント以上の場合：★，-5ポイント未満の場合：★★と表記しています。

(1) 小学校及び義務教育学校前期課程

①観点別

単位 (%)

教科	観点	小学校	3年生	4年生	5年生	6年生
国語	知識・技能	釧路市	81.8	☆ 79.9	☆ 76.7	70.8
		全国平均	81.3	76.9	73.4	68.5
	思考・判断・表現	釧路市	71.3	☆ 68.6	☆ 70.0	73.7
		全国平均	73.6	65.6	65.3	72.8
算数	知識・技能	釧路市	76.1	☆☆ 76.1	☆ 67.7	80.1
		全国平均	77.8	70.2	64.7	77.4
	思考・判断・表現	釧路市	53.0	☆☆ 60.7	☆☆ 62.5	59.1
		全国平均	52.3	55.7	56.1	58.8

②基礎・活用

単位 (%)

教科	観点	小学校	3年生	4年生	5年生	6年生
国語	基礎	釧路市	79.2	77.9	☆ 76.0	74.8
		全国平均	79.7	75.0	72.4	72.9
	活用	釧路市	67.7	☆ 64.8	☆ 66.6	67.7
		全国平均	70.3	61.6	61.7	66.9
算数	基礎	釧路市	77.6	☆☆ 72.5	☆ 72.3	80.1
		全国平均	78.5	66.7	68.1	77.2
	活用	釧路市	57.2	☆☆ 69.1	☆ 52.3	63.7
		全国平均	59.2	63.7	48.5	63.4

(2) 中学校及び義務教育学校後期課程

①観点別

単位 (%)

教科	観点	中学校	1年生	2年生
国語	知識・技能	釧路市	72.2	73.1
		全国平均	73.1	74.9
	思考・判断・表現	釧路市	59.1	65.5
		全国平均	56.3	67.1
数学	知識・技能	釧路市	59.1	54.4
		全国平均	59.4	56.3
	思考・判断・表現	釧路市	50.9	35.9
		全国平均	49.4	37.2

②基礎・活用

単位 (%)

教科	中学校	1年生	2年生	
国語	基礎	釧路市	68.6	73.5
		全国平均	68.3	75.6
	活用	釧路市	☆ 55.1	58.0
		全国平均	51.8	58.9
数学	基礎	釧路市	61.1	53.9
		全国平均	61.2	55.8
	活用	釧路市	41.5	32.3
		全国平均	40.5	33.1

3 領域別平均正答率の状況

正答率が全国平均に対し、+5ポイント以上の場合：☆☆、+5ポイント未満+3ポイント以上の場合：☆、
-3ポイント未満-5ポイント以上の場合：★、-5ポイント未満の場合：★★と表記しています。

(1) 小学校及び義務教育学校前期課程

単位 (%)

	国語	言葉の特徴や使い方に関する事項	情報の扱い方に関する事項	我が国の言語文化に関する事項	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと
	三年生	釧路市	81.9	80.8	★ 76.9	71.5	★ 68.4
	全国平均	81.2	81.8	81.9	71.7	71.4	
	算数	数と計算	図形	測定	データの活用		
	釧路市	70.4	★★ 66.5	76.4	☆ 74.7		
	全国平均	71.9	77.4	74.2	70.9		
	国語	言葉の特徴や使い方に関する事項	情報の扱い方に関する事項	我が国の言語文化に関する事項	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと
	四年生	釧路市	☆ 81.6	69.3	☆ 75.2	64.0	☆☆ 85.2
	全国平均	78.2	70.0	71.3	63.4	74.2	61.8
	算数	数と計算	図形	変化と関係	データの活用		
	釧路市	☆☆ 72.2	☆☆ 70.0	☆ 73.8	☆☆ 68.3		
	全国平均	67.0	62.9	69.5	62.7		
	国語	言葉の特徴や使い方に関する事項	情報の扱い方に関する事項	我が国の言語文化に関する事項	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと
	五年生	釧路市	☆ 80.0	☆☆ 64.3	56.1	81.9	☆☆ 69.2
	全国平均	76.8	57.9	54.8	80.4	60.3	62.0
	算数	数と計算	図形	変化と関係	データの活用		
	釧路市	☆ 70.0	☆ 65.1	☆ 48.1	☆☆ 66.1		
	全国平均	66.0	61.4	44.0	59.0		
	国語	言葉の特徴や使い方に関する事項	情報の扱い方に関する事項	我が国の言語文化に関する事項	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと
	六年生	釧路市	☆ 71.2	76.2	★ 61.3	90.4	☆ 71.6
	全国平均	68.2	74.1	66.3	92.6	68.1	66.9
	算数	数と計算	図形	変化と関係			
	釧路市	76.6	74.7	☆ 68.4			
	全国平均	73.9	74.3	64.2			

(2) 中学校及び義務教育学校後期課程

単位 (%)

	国語	言葉の特徴や使い方に関する事項	情報の扱い方に関する事項	我が国の言語文化に関する事項	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと
	一年生	釧路市	71.7	★ 81.4	67.3	62.4	☆☆ 61.5
	全国平均	72.3	84.6	68.2	64.6	52.7	55.8
	数学	数と式	図形	関数			
	釧路市	59.5	☆☆ 73.8	45.6			
	全国平均	59.8	68.8	46.7			
	国語	言葉の特徴や使い方に関する事項	情報の扱い方に関する事項	我が国の言語文化に関する事項	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと
	二年生	釧路市	82.6	60.1	46.2	64.9	58.4
	全国平均	84.2	61.7	48.8	67.5	57.0	77.1
	数学	数と式	図形	関数			
	釧路市	★ 47.4	60.2	44.6			
	全国平均	50.6	61.9	44.8			

4 問題の内容別平均正答率の状況

正答率が全国平均に対し、+5ポイント以上の場合：☆☆、+5ポイント未満+3ポイント以上の場合：☆、-3ポイント未満-5ポイント以上の場合：★、-5ポイント未満の場合：★★と表記しています。

(1) 小学校及び義務教育学校前期課程

単位 (%)

	国語	話し合いの内よう聞き取る	漢字を読む	漢字を書く	言葉の学習	物語の内ようを読み取る	せつ明文の内ようを読み取る	せつ明する文章を書く	文章を書く	
		三年生	国語	話し合いの内よう聞き取る	漢字を読む	漢字を書く	言葉の学習	物語の内ようを読み取る	せつ明文の内ようを読み取る	せつ明する文章を書く
	釧路市	★ 76.9	☆ 96.5	70.4	79.2	★ 66.2	70.5	61.3	76.7	
	全国平均	81.9	93.0	72.6	79.0	70.4	72.4	63.2	76.0	
	算数	10000より大きい数	たし算・ひき算	かけ算	わり算	円と球	長さ	時こくと時間	表とぼうグラフ	
	釧路市	★ 81.2	77.9	66.2	65.8	★★ 66.5	☆ 81.2	73.1	☆ 74.7	
	全国平均	84.5	79.6	69.1	64.9	77.4	76.3	72.8	70.9	
四年生	国語	話し合いの内よう聞き取る	漢字を読む	漢字を書く	言葉の学習	物語の内ようを読み取る	説明文の内ようを読み取る	活動をふり返って話し合う	文章を書く	
	釧路市	84.1	☆☆ 94.3	66.5	☆ 79.3	61.2	61.5	33.7	☆☆ 85.2	
	全国平均	84.1	89.3	66.0	75.9	62.4	61.2	32.2	74.2	
	算数	億と兆・がい数の表し方	わり算	小数	計算のきまり	垂直・平行と四角形	角の大きさ	簡単な場合についての割合	折れ線グラフ	
	釧路市	☆ 81.4	☆☆ 63.9	☆☆ 73.6	63.9	☆☆ 69.9	☆ 70.1	☆ 73.8	☆☆ 68.3	
	全国平均	78.1	54.5	66.7	63.2	58.9	66.8	69.5	62.7	
五年生	国語	話し合いの内容を聞き取る	漢字を読む	漢字を書く	言葉の学習	物語の内容を読み取る	説明文の内容を読み取る	学級新聞の記事を書く	文章を書く	
	釧路市	81.9	95.6	74.9	☆☆ 69.0	66.7	☆ 62.9	☆☆ 55.4	☆☆ 74.8	
	全国平均	80.4	96.0	72.1	63.7	64.4	59.6	49.3	65.3	
	算数	整数のなかま分け	小数のかけ算・わり算	分数と小数	分数のたし算・ひき算	合同	図形の角	体積	単位数あたりの大きさ・比例	平均
	釧路市	73.9	☆☆ 67.9	★ 71.2	72.3	☆☆ 82.5	☆ 43.0	72.3	☆ 48.1	☆☆ 66.1
	全国平均	71.0	61.2	75.2	71.0	76.2	39.1	72.7	44.0	59.0
六年生	国語	インタビューの内容を聞き取る	漢字を読む	漢字を書く	言葉の学習	物語の内容を読み取る	説明文の内容を読み取る	レポートを書く	文章を書く	
	釧路市	90.4	89.9	☆☆ 55.5	☆ 67.4	74.1	60.1	52.1	☆☆ 82.5	
	全国平均	92.6	91.8	50.5	64.3	73.2	60.6	53.1	77.1	
	算数	分数のかけ算・わり算	文字と式	拡大図と縮図	対称な形	面積と体積	比と比の値			
	釧路市	75.7	☆☆ 80.7	56.7	86.6	80.9	☆ 68.4			
	全国平均	73.5	75.6	55.9	88.0	79.1	64.2			

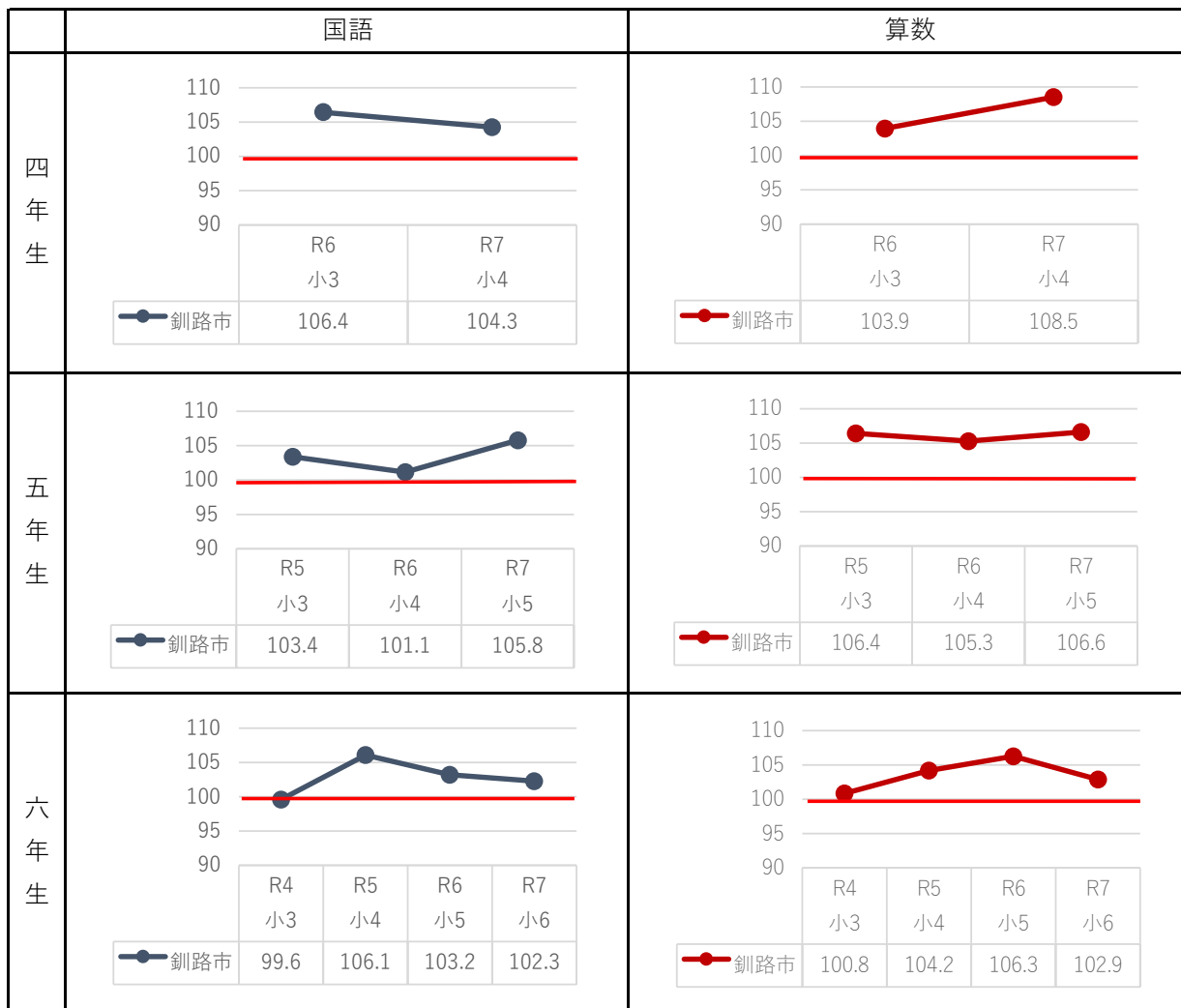
(2) 中学校及び義務教育学校後期課程

単位 (%)

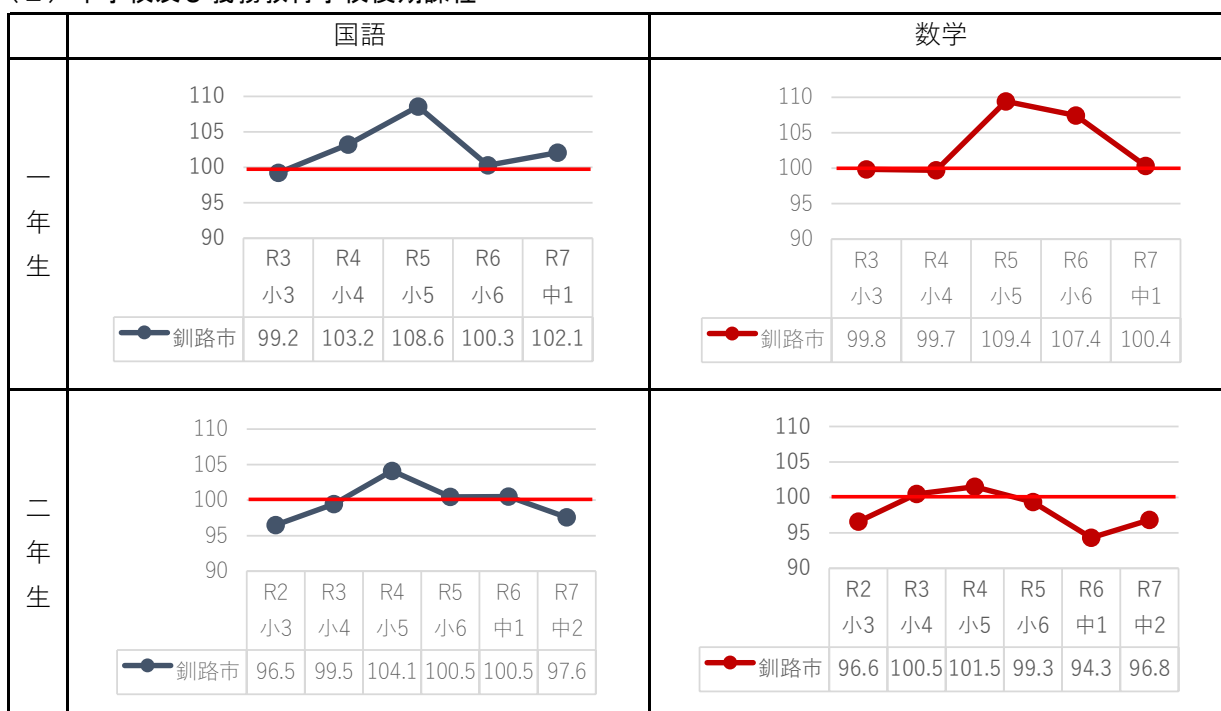
	国語	話し合いの内容を聞き取る	漢字を読む	漢字を書く	文法・語句に関する事項	説明的な文章の内容を読み取る	文学的な文章の内容を読み取る	調べたことをもとにレポートを書く	文章を書く
		一年生	国語	話し合いの内容を聞き取る	漢字を読む	漢字を書く	文法・語句に関する事項	説明的な文章の内容を読み取る	文学的な文章の内容を読み取る
	釧路市	62.4	94.4	56.6	62.5	48.9	61.0	66.4	☆☆ 62.8
	全国平均	64.6	95.2	55.4	64.8	47.9	63.8	66.7	50.2
	数学	正の数・負の数	文字式	1次方程式	比例・反比例	平面図形			
	釧路市	66.0	59.5	51.8	45.6	☆☆ 73.8			
	全国平均	66.1	60.6	51.8	46.7	68.8			
二年生	国語	発表の内容を聞き取る	漢字を読む	漢字を書く	文法・語句に関する事項	説明的な文章の内容を読み取る	文学的な文章の内容を読み取る	調べたことをもとにレポートを書く	文章を書く
	釧路市	64.9	97.2	★★ 77.6	48.8	★ 69.2	★ 76.4	53.1	☆ 62.9
	全国平均	67.5	94.8	82.7	51.5	72.8	81.4	55.1	59.6
	数学	式の計算	連立方程式	1次関数	図形の性質	証明			
	釧路市	★ 47.8	46.9	44.6	59.6	★ 60.8			
	全国平均	52.1	48.4	44.8	58.4	65.5			

同一集団による経年変化（全国平均を100とした場合）

(1) 小学校及び義務教育学校前期課程



(2) 中学校及び義務教育学校後期課程



全国平均との比較達成状況

(1) 小学校及び義務教育学校前期課程

() は令和6年度

国語	$P < -5$	$-5 \leq P < -3$	$-3 \leq P < 0$	$0 \leq P < 3$	$3 \leq P < 5$	$5 \leq P$
3年生	7校	2校	4校	5校	2校	6校
	(3校)	(2校)	(2校)	(6校)	(2校)	(11校)
4年生	3校	3校	0校	4校	2校	14校
	(4校)	(4校)	(4校)	(5校)	(2校)	(6校)
5年生	3校	0校	1校	5校	5校	11校
	(5校)	(1校)	(1校)	(4校)	(4校)	(11校)
6年生	3校	1校	5校	5校	5校	7校
	(4校)	(2校)	(8校)	(6校)	(0校)	(6校)

算数	$P < -5$	$-5 \leq P < -3$	$-3 \leq P < 0$	$0 \leq P < 3$	$3 \leq P < 5$	$5 \leq P$
3年生	6校	2校	5校	5校	3校	5校
	(5校)	(0校)	(1校)	(8校)	(3校)	(8校)
4年生	5校	0校	0校	3校	2校	16校
	(4校)	(1校)	(3校)	(4校)	(3校)	(10校)
5年生	3校	2校	1校	3校	3校	13校
	(2校)	(4校)	(5校)	(2校)	(4校)	(9校)
6年生	3校	4校	2校	5校	4校	8校
	(3校)	(0校)	(2校)	(3校)	(4校)	(14校)

(2) 中学校及び義務教育学校後期課程

国語	$P < -5$	$-5 \leq P < -3$	$-3 \leq P < 0$	$0 \leq P < 3$	$3 \leq P < 5$	$5 \leq P$
1年生	2校	1校	2校	3校	3校	4校
	(3校)	(1校)	(1校)	(2校)	(3校)	(5校)
2年生	3校	2校	1校	4校	0校	5校
	(2校)	(1校)	(3校)	(2校)	(4校)	(3校)

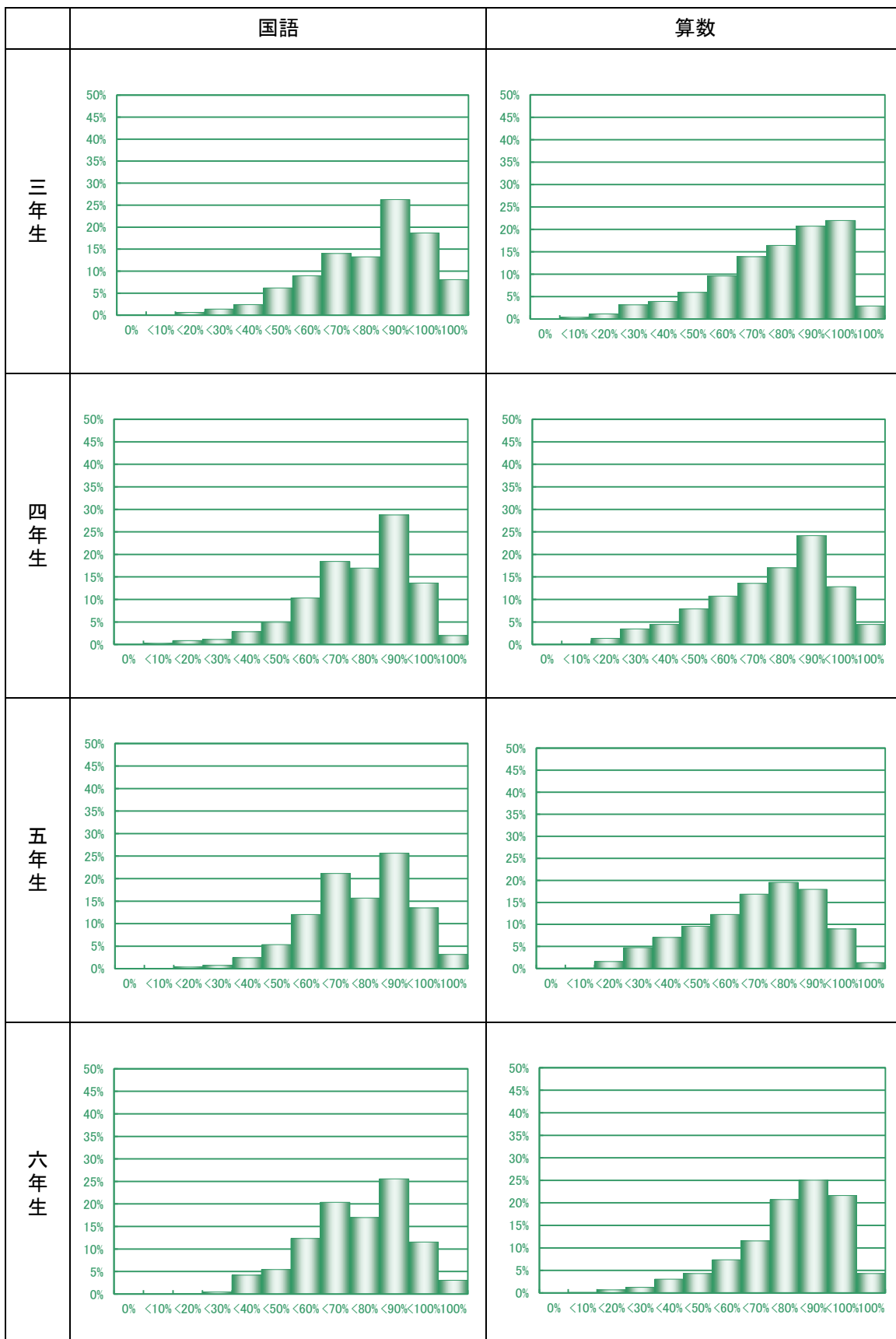
数学	$P < -5$	$-5 \leq P < -3$	$-3 \leq P < 0$	$0 \leq P < 3$	$3 \leq P < 5$	$5 \leq P$
1年生	0校	3校	3校	3校	3校	3校
	(3校)	(3校)	(6校)	(0校)	(1校)	(2校)
2年生	1校	3校	4校	2校	1校	4校
	(2校)	(2校)	(2校)	(2校)	(3校)	(4校)

正答率度数分布から見る本市の状況

集団における子供のちらばりを把握し、効果的な指導を実施するために、平均正答率だけでなく、令和8年度より正答率度数分布について分析しております。

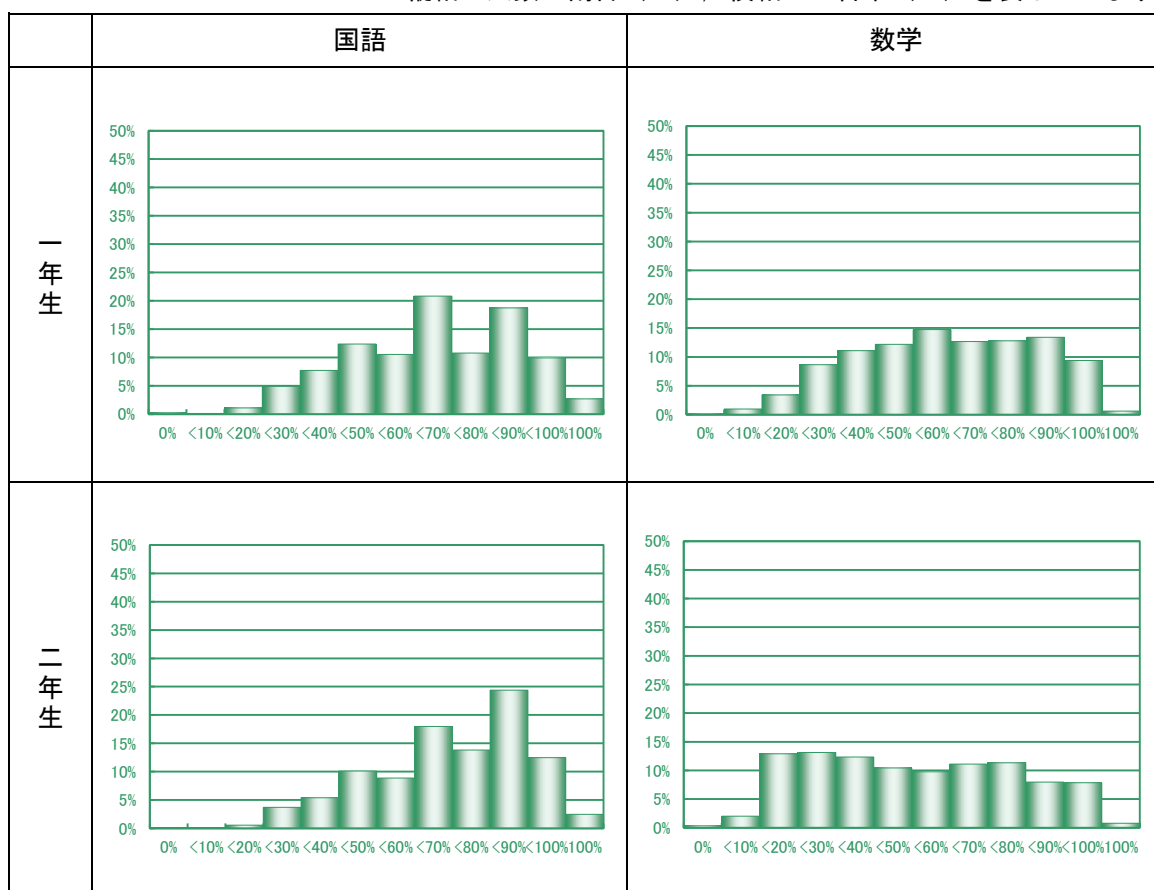
(1) 小学校及び義務教育学校前期課程

縦軸に人数の割合(%)，横軸に正答率(%)を表しています



(2) 中学校及び義務教育学校後期課程

縦軸に人数の割合(%)，横軸に正答率(%)を表しています



- このグラフは、正答率による分布（ちらばり）の様子を示しています。
- 左側に人数が多い場合は「授業についていくのが難しい層」への対策が必要であり、逆に右側が多い場合は「より高度な内容」への挑戦が必要だと判断します。
- 「平均点を上げること」だけを目指すのではなく、「グラフの左側の層を減らし、右側の層をさらに厚くすること」を目標に、分布の特徴に合わせて効果的な指導をすることが大切です。

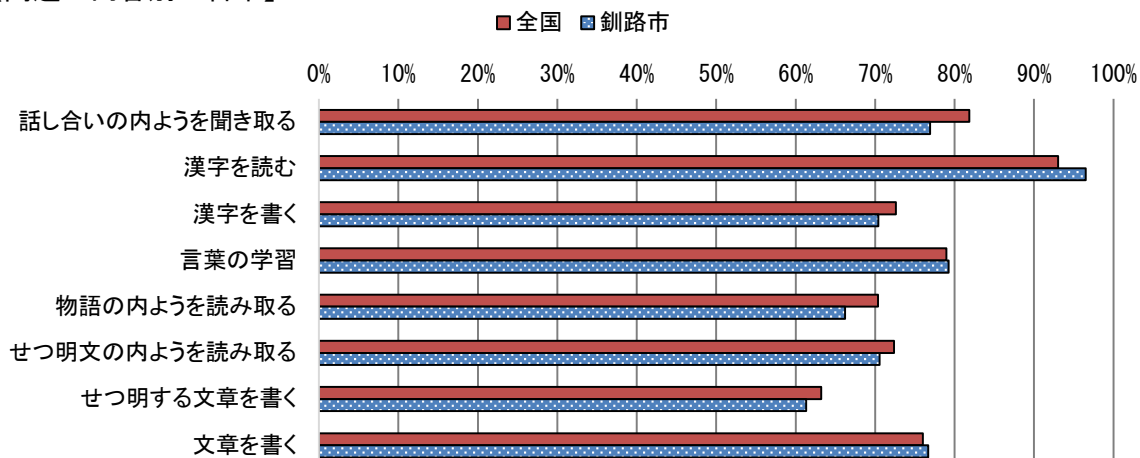
課題改善に向けた取組
(教科に関する検査より)

- 同一集団における前年度からの伸びを見たときに、小学6年から中学1年の接続段階における算数・数学の課題が顕著に見られたことから、小中連携における授業改善を推進する。
- 教職員の研修状況や授業公開における実施格差を解消し、すべての教職員が能動的に教育活動の改善を進めるための実効的な施策を講じる。
- 全国比－5 pをさらに下回る小・中学校には、指導主事や授業マイスターによる示範授業を実施し、学習指導の取組の改善に向けた指導・助言を行う。
- 学力下位層に位置する学校数をゼロにするという明確な目標を掲げ、各学校が具体的な取組を着実に進めるよう、詳細な分析結果に基づき指導助言を行うとともに、子供の姿を観察し、分析した結果を基にした具体的な改善策を協議する研修を位置付けるよう働きかける。

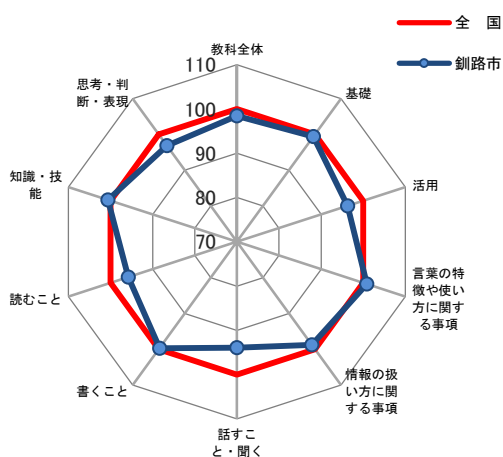
Ⅱ 各学年・教科の状況

1 小学校3年生（国語）

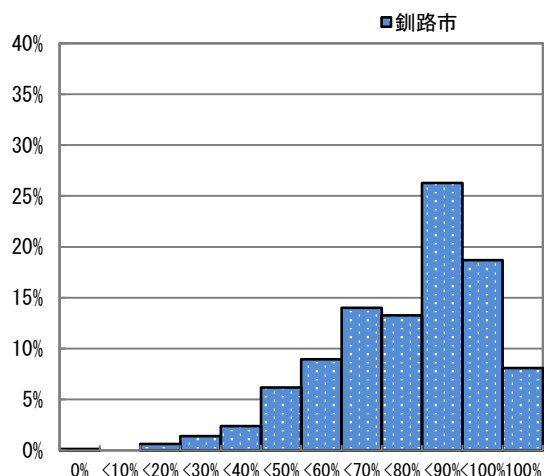
【問題の内容別正答率】



【標準スコアによるカテゴリー間の比較】



【正答率度数分布】



【結果と傾向】

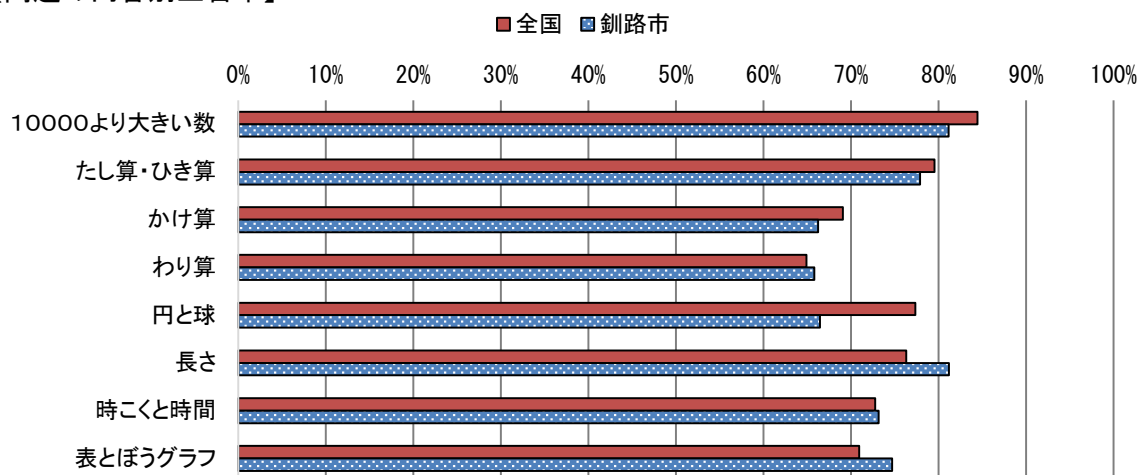
- ・ 教科全体の正答率は、75.5%（全国平均76.7%）である。カテゴリー別正答率においては、「言葉の特徴や使い方に関する事項」で上回っている一方、それ以外の項目で下回っている。
- ・ 問題の内容別正答率においては、「漢字を読む」、「言葉の学習」、「文章を書く」で上回っている一方、「話し合いの内ようを聞き取る」、「漢字を書く」、「物語の内ようを読み取る」、「せつ明文の内ようを読み取る」、「せつ明する文章を書く」で下回っている。
- ・ 特に全国平均を上回った設問は、「漢字を読む」の設問における「第3学年に配当されている漢字を正しく読むこと」、「文章を書く」の設問における「書く内容の中心を明確にして、文章の構成を捉えること」等である。
- ・ 特に全国平均を下回った設問は、「話し合いの内ようを聞き取る」の設問における「司会の役割を果たしながら話し合い、意見の相違点に着目すること」、「せつ明文の内ようを読み取る」の設問における「叙述を基に段落の内容を捉えること」等である。

【今後の指導について】

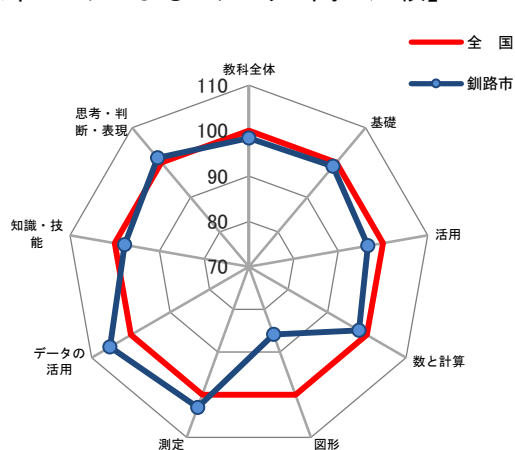
- 司会などの役割を果たしながら、互いの考えの共通点や相違点に着目し、考えをまとめる指導の充実
 - ・ 自分と相手、あるいは発言者同士の考えを比較しながら、共通点や相違点がどこにあるのかを明確に捉え、司会として話し合いを進行したり意見をまとめたりする学習活動を充実させましょう。
- 段落相互の関係に着目しながら、文章の構造や内容を正確に捉える指導の充実
 - ・ 考えとそれを支える理由や事例との関係に着目しながら、書き手の考えがどのような理由によって説明されているのか、どのような事例によって具体化されているのかなどを、叙述を基に正確に捉える学習活動を充実させましょう。

2 小学校3年生（算数）

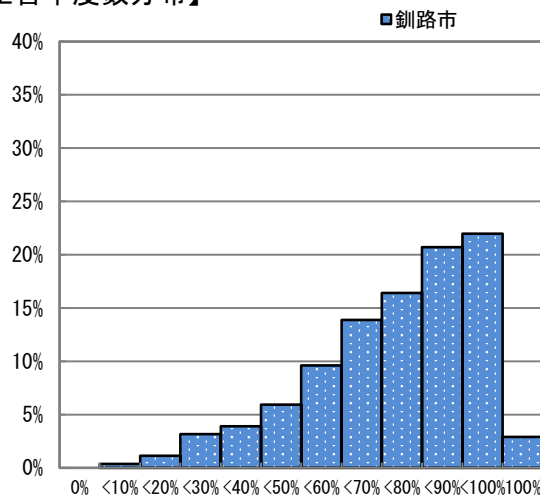
【問題の内容別正答率】



【標準スコアによるカテゴリー間の比較】



【正答率度数分布】



【結果と傾向】

- ・ 教科全体の正答率は、71.5%（全国平均72.7%）である。カテゴリー別正答率においては、「測定」、「データの活用」で上回っている一方、「数と計算」、「図形」で下回っている。
- ・ 問題の内容別正答率においては、「わり算」、「長さ」、「時こくと時間」、「表とぼうグラフ」で上回っている一方、「10000より大きい数」、「たし算・ひき算」、「かけ算」、「円と球」で下回っている。
- ・ 特に全国平均を上回った設問は、「長さ」の設問における「道のりの意味を理解し、地図から道のりを読み取って、計算で道のりを求めること」、「身近にあるものの長さを推察して、適切な単位を使うこと」、「表とぼうグラフ」の設問における、「棒グラフを読み取ること」等である。
- ・ 特に全国平均を下回った設問は、「円と球」の設問における「コンパスで同じ長さを測り取ることができることを理解し、長さを比べること」、「かけ算」の設問における「3けた×1けた=4けたの計算」等である。

【今後の指導について】

○ 図形をかいたり、確かめたりする指導の充実

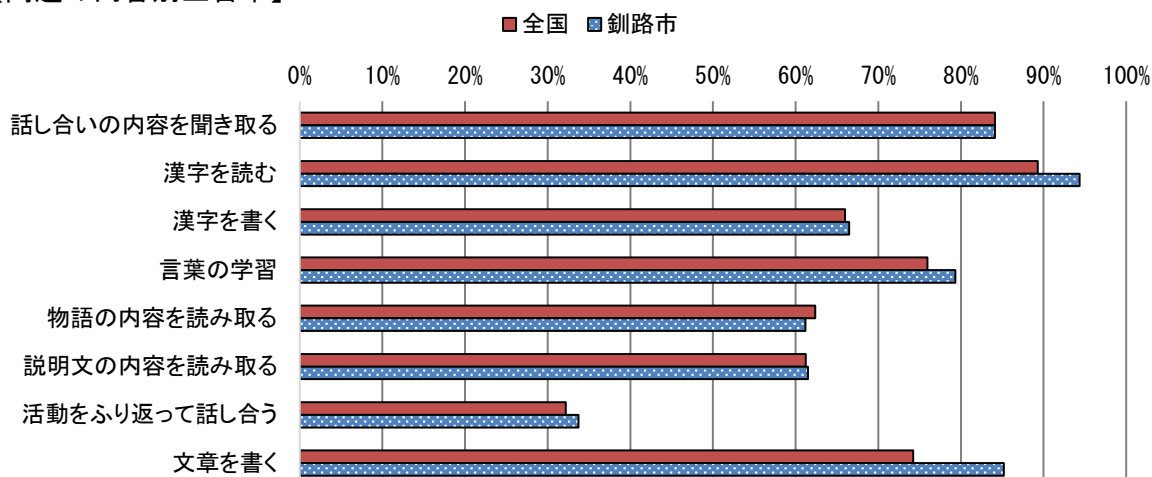
- ・ 円や球について、作図などの活動を通して、コンパスの操作に慣れさせるとともに、コンパスで円をかくだけでなく、等しい長さを測り取ったり、移したり、長さを比べたりする学習活動を充実させましょう。

○ 乗法の計算が確実にでき、それを適切に用いる指導の充実

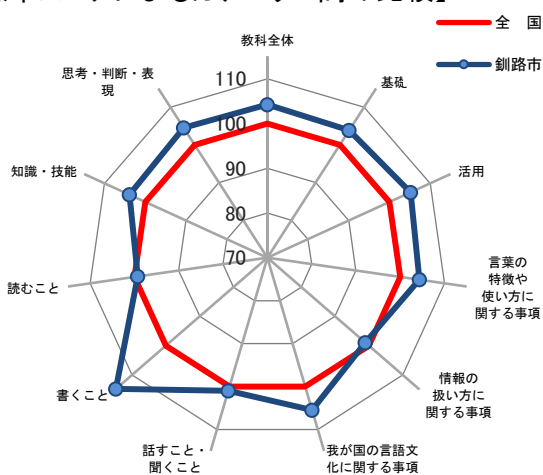
- ・ 乗法は、乗法九九などの基本的な計算を基にしてできることを理解するとともに、計算の仕方を形式的に習得するのではなく、計算の仕方を説明したり、見積りや確かめをしたりする学習活動を充実させましょう。

3 小学校4年生（国語）

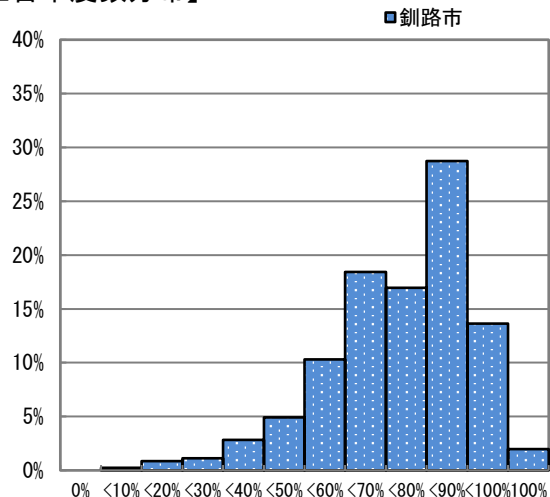
【問題の内容別正答率】



【標準スコアによるカテゴリー間の比較】



【正答率度数分布】



【結果と傾向】

- 教科全体の正答率は、73.4%（全国平均70.4%）である。カテゴリー別正答率においては、「情報の扱いに関する事項」「読むこと」以外の項目で上回っている。
- 問題の内容別正答率においては、「文章を書く」、「漢字を読む」、「言葉の学習」、「活動をふり返って話し合う」、「漢字を書く」、「説明文の内容を読み取る」で上回っている一方、「物語の内容を読み取る」で下回っている。
- 特に全国平均を上回った設問は、「言葉の学習」の設問における「連体修飾語について理解すること」、「文章を書く」の設問における「相手や目的を意識して、伝えたいことを明確にすること」等である。
- 特に全国平均を下回った設問は、「説明文の内ようを読み取る」の設問における「叙述を基に段落相互の関係を捉えること」、「言葉の学習」設問における「行動を表す語句の量を増し、語彙を豊かにすること」等である。

【今後の指導について】

○ 考えとその事例、結論とその理由を、叙述を基に正確に捉える指導の充実

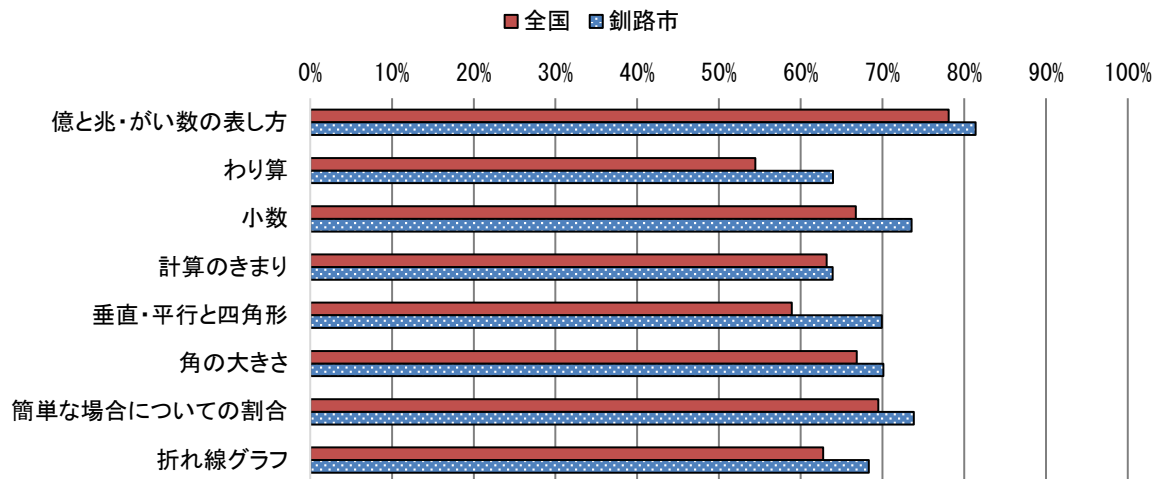
- 考えとその事例、結論とその理由の関係に着目しながら、書き手の考えがどのような理由によって説明されているのか、どのような事例によって具体化されているのかなどを、叙述を基に正確に捉える学習活動を充実させましょう。

○ 様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増やし、話や文章の中で使う指導の充実

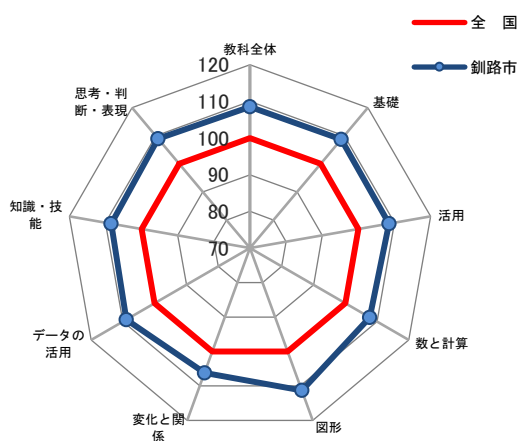
- 「C読むこと」において文学的な文章を読む際に、「様子や行動、気持ちや性格を表す語句」を捉えることや、「書くこと」において語句を「役割」によって捉え、書き表し方を工夫したりする学習活動を充実させましょう。

4 小学校4年生（算数）

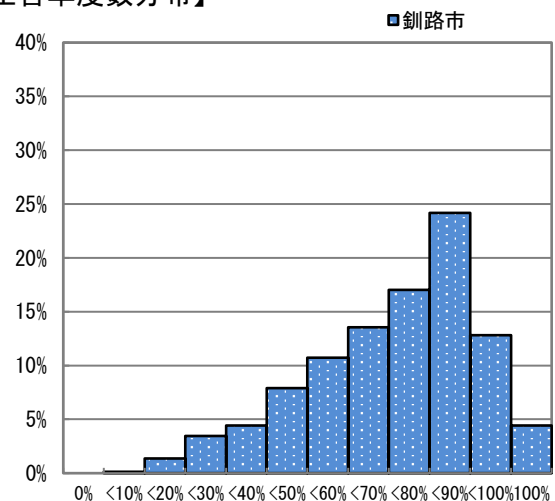
【問題の内容別正答率】



【標準スコアによるカテゴリー間の比較】



【正答率度数分布】



【結果と傾向】

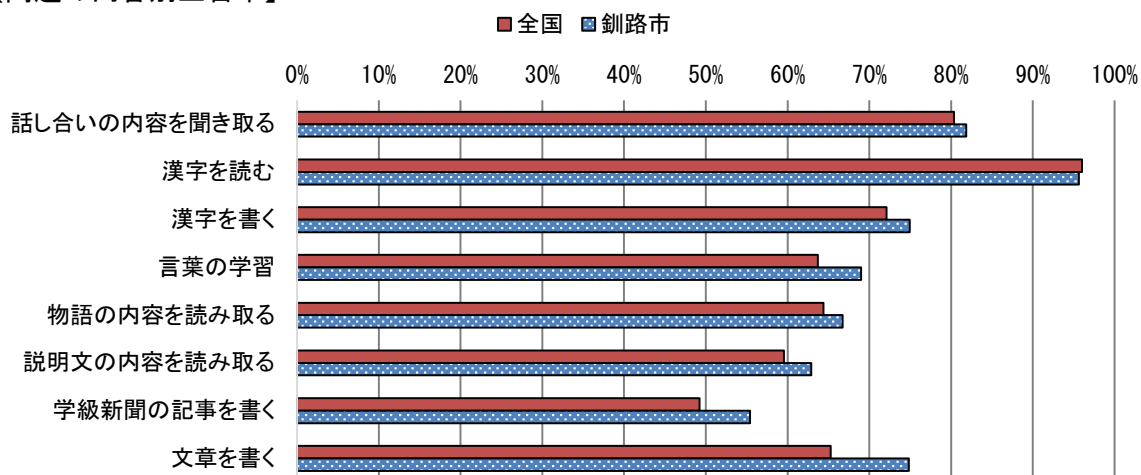
- ・教科全体の正答率は、71.3%（全国平均65.7%）である。カテゴリー別正答率においては、すべての項目で、上回っている。
- ・問題の内容別正答率においては、「垂直・平行と四角形」、「わり算」、「小数」、「折れ線グラフ」、「簡単な場合についての割合」、「億と兆・がい数の表し方」、「角の大きさ」、「計算のきまり」のすべての内容で上回っている。
- ・特に全国平均を上回った設問は、「垂直・平行と四角形」の設問における「平行な直線の性質を理解すること」、「四角形の対角線の性質を理解すること」、「ひし形の作図ができること」、「わり算」の設問における「3けた÷1けた=1けた（余りあり）の計算ができること」等である。
- ・特に全国平均を下回った設問は、「計算のきまり」の設問における「計算のきまりを理解し、式に合った文章問題を選ぶこと」、「億と兆・がい数の表し方」の設問における「上から2けたの概数の表し方を理解すること」等である。

【今後の指導について】

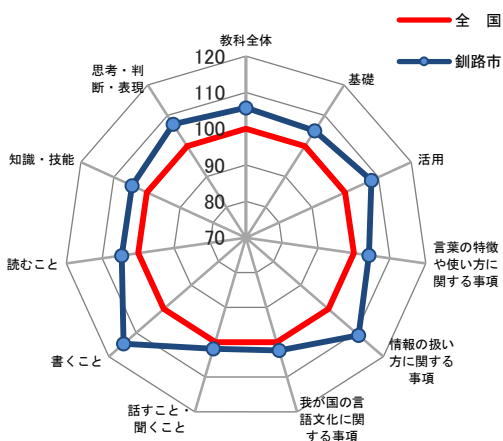
- **問題場面の数量の関係に着目し、式の意味を読み取ったりする指導の充実**
 - ・式は計算の結果を求めるための手段だけでなく、思考の筋道を表現する手段としても用いられることに気付かせ、どんな式になるかを考え、伝え合うことで、数量の関係や思考の過程を表したり、式を読み取ったりする学習活動を充実させましょう。
- **概数を用いるときに、目的を明確にしなが、用い方を理解できるようにする指導の充実**
 - 形式的な処理のみでなく、概数が多く用いられている他教科等の学習場面や新聞記事など、概数を読み取ったり、自ら概数を用いる場面を設けたりするなど、概数を日常生活に生かす学習活動を充実させましょう。

5 小学校5年生（国語）

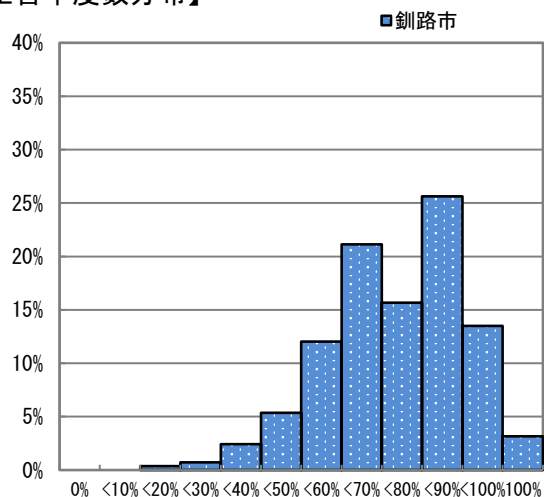
【問題の内容別正答率】



【標準スコアによるカテゴリー間の比較】



【正答率度数分布】



【結果と傾向】

- ・教科全体の正答率は73.1%（全国平均69.1%）である。カテゴリー別正答率においては、すべての項目で上回っている。
- ・問題の内容別正答率においては、「文章を書く」、「学級新聞の記事を書く」、「言葉の学習」、「説明文の内容を読み取る」、「漢字を書く」、「物語の内容を読み取る」、「話し合いの内容を聞き取る」で上回っている一方、「漢字を読む」で下回っている。
- ・特に全国平均を上回った設問は、「言葉の学習」の設問における「連用修飾語」、「文章を書く」の設問における「文章全体の構成や展開を考えること」等である。
- ・特に全国平均を下回った設問は、「漢字を読む」の設問における「第5学年に配当されている漢字を正しく読むこと」、「説明文の内容を読み取る」の設問における「文章全体の構成を捉えること」である。

【今後の指導について】

○ 目的や意図に応じた情報の整理と、記述の推敲に関する指導の充実

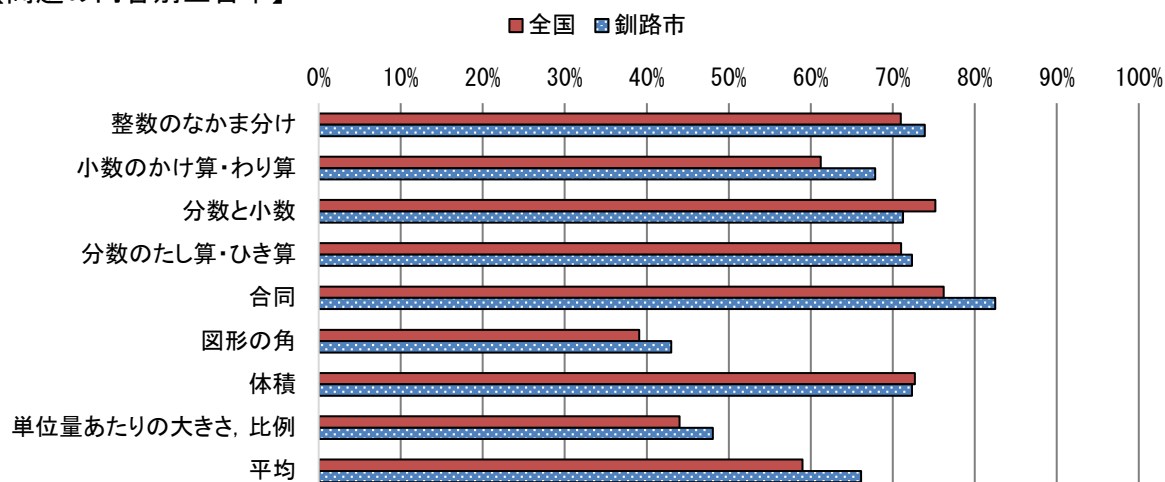
- ・学級新聞等の作成において、取材内容を事実と感想に色分けして整理する活動や、推敲時に段落の順序を入れ替えて構成の妥当性を再検討する活動を通じ、読み手に自分の考えが明確に伝わる文章へと整える指導を充実させましょう。

○ 言葉の特徴や使い方に関する基礎的知識の定着

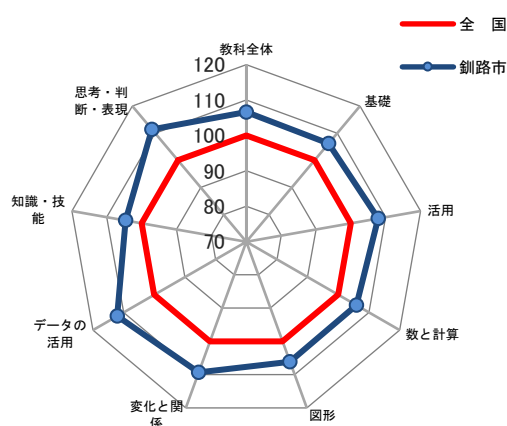
- ・単独の繰り返し練習に留まらず、学習の振り返りや日記等の日常的な記述場面において、文脈に即して漢字を適切に使い分ける短文作りや、語彙活用の機会を意図的に設定するなど、「漢字を文や文章の中で使う」学習活動を充実させましょう。

6 小学校5年生（算数）

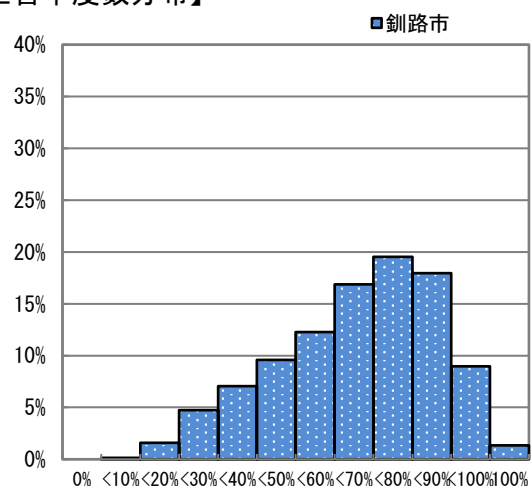
【問題の内容別正答率】



【標準スコアによるカテゴリー間の比較】



【正答率度数分布】



【結果と傾向】

- ・教科全体の正答率は66.1%（全国平均62.0%）である。カテゴリー別正答率においては、すべての項目で上回っている。
- ・問題の内容別正答率においては、「平均」、「小数のかけ算・わり算」、「合同」、「単位量あたりの大きさ、比例」、「図形の角」、「整数のなかま分け」、「分数のたし算・ひき算」、等で上回っている一方、「分数と小数」、「体積」で下回っている。
- ・特に全国平均を上回った設問は、「小数のかけ算・わり算」の設問における「小数の乗法でも分配法則が成り立つこと」、「平均」の設問における「値に0があり、答えが小数になる分離数の平均を求めること」等である。
- ・特に全国平均を下回った設問は、「分数と小数」の設問における「整数÷整数の商を分数で表すこと」、「単位量あたりの大きさ、比例」の設問における「人口密度と面積から、ある町の人口を求めること」である。

【今後の指導について】

○ 分数と小数の相互関係についての理解と数学的な表現の育成

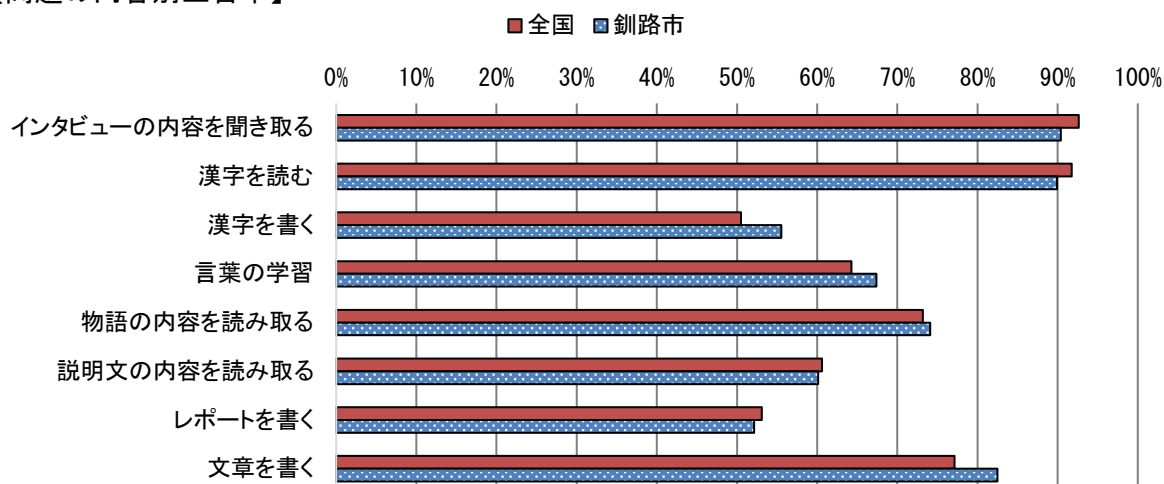
- ・数直線上で小数と分数の大きさを対応させて「どちらも同じ値を指している」ことを直感的に捉える活動に加え、計算結果を相互に変換して確かめたり場面に応じて適切な表し方を柔軟に選んだりする学習活動を充実させましょう。

○ 「単位量あたりの大きさ」を基にした逆算と多角的な吟味

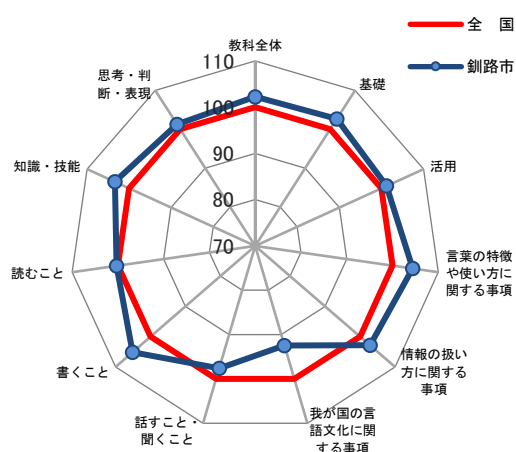
- ・「人口密度×面積＝人口」といった数量の関係を二重数直線などの図と結び付けて整理させるとともに、計算結果が数量としての実感に照らして妥当であるか多角的に確かめたり、解き方の理由や根拠を話し合ったりする学習活動を充実させましょう。

7 小学校6年生（国語）

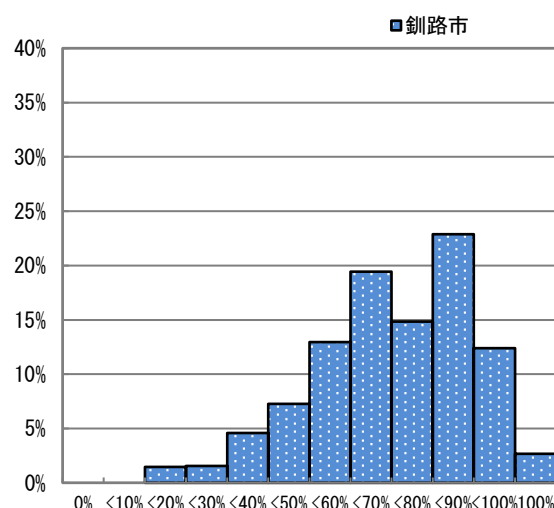
【問題の内容別正答率】



【標準スコアによるカテゴリー間の比較】



【正答率度数分布】



【結果と傾向】

- ・ 教科全体の正答率は72.4%（全国平均70.8%）である。カテゴリー別正答率においては、「言葉の特徴や使い方に関する事項」、「情報の扱い方に関する事項」、「書くこと」、「読むこと」で上回っている一方、「我が国の言語文化に関する事項」、「話すこと・聞くこと」で下回っている。
- ・ 問題の内容別正答率においては、「文章を書く」、「漢字を書く」、「言葉の学習」、「物語の内容を読み取る」で上回っている一方、「インタビューの内容を聞き取る」、「漢字を読む」、「レポートを書く」、「説明文の内容を読み取る」で下回っている。
- ・ 特に全国平均を上回った設問は、「漢字を書く」の設問における「第5学年に配当されている漢字を正しく書くこと」、「言葉の学習」の設問における「三字の熟語の成り立ちについて理解すること」、「文章を書く」の設問における「目的や意図に応じて、伝えたいことを明確にすること」、「文章全体の構成や展開を考えること」等である。
- ・ 特に全国平均を下回った設問は、「インタビューの内容を聞き取る」の設問における「意図に応じて、質問を工夫すること」、「漢字を読む」の設問における「第6学年に配当されている漢字を正しく読むこと」等である。

【今後の指導について】

- 目的や意図に応じ、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめる指導の充実

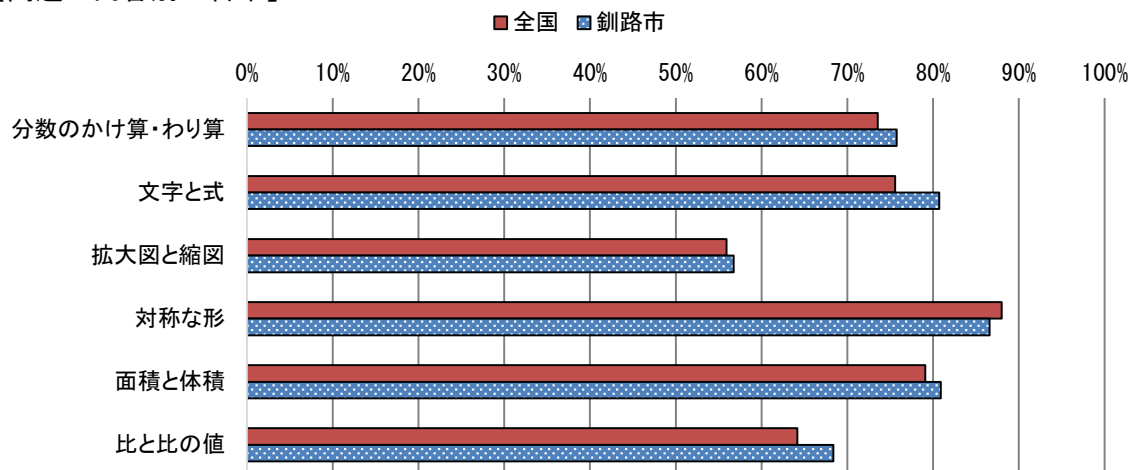
インタビューをする前に、自分が知りたいことや疑問に思っていることなどを整理したり、答えを予想したりしておくとともに、インタビューをする際には、自分が知りたい内容に関する言葉を取り上げ、質問しながら理解を深め、話し手の考えと比較しながら自分の考えをまとめていく学習活動を充実させましょう。

- 当該学年までに配当されている漢字を読む指導の充実

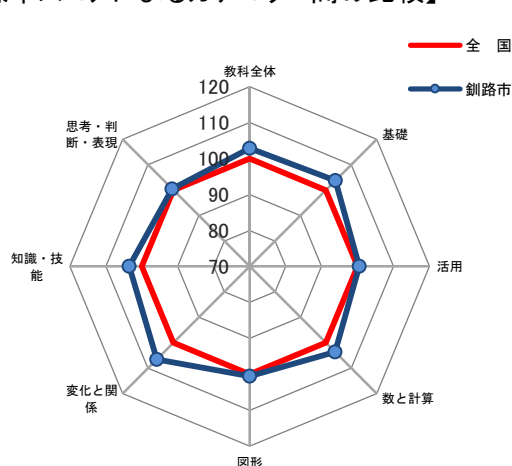
漢字による熟語などの語句の使用が増加する時期であることを踏まえ、文や文章の中で漢字を読むことを大切にするとともに、漢字の読みや意味などを自分で調べる学習活動を充実させましょう。

8 小学校6年生（算数）

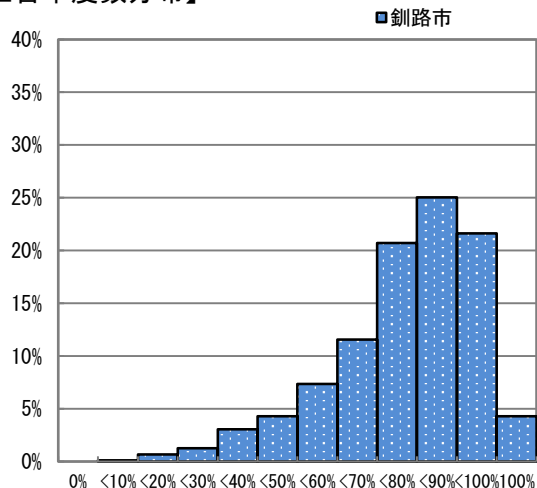
【問題の内容別正答率】



【標準スコアによるカテゴリー間の比較】



【正答率度数分布】



【結果と傾向】

- ・教科全体の正答率は、75.2%（全国平均73.1%）である。カテゴリー別正答率においては、全ての項目で上回っている。
- ・問題の内容別正答率においては、「文字と式」、「比と比の値」、「分数のかけ算・わり算」、「面積と体積」、「拡大図と縮図」で上回っている一方、「対称な形」で下回っている。
- ・特に全国平均を上回った設問は、「分数のかけ算・わり算」の設問における「比較量、基準量が分数の場合において、比較量が基準量の何倍になるかを求める式を選ぶこと」、「文字と式」の設問における「文字を使って、2つの数量の関係を1つの式に表すこと」、「比と比の値」の設問における「比の値について理解すること」等である。
- ・特に全国平均を下回った設問は、「対称な形」の設問における「点対称な図形の対応する辺について理解すること」、「比と比の値」の設問における「比を使って、全体の量から一方の量を求めること」等である。

【今後の指導について】

○ 対称な図形の見方を深める指導の充実

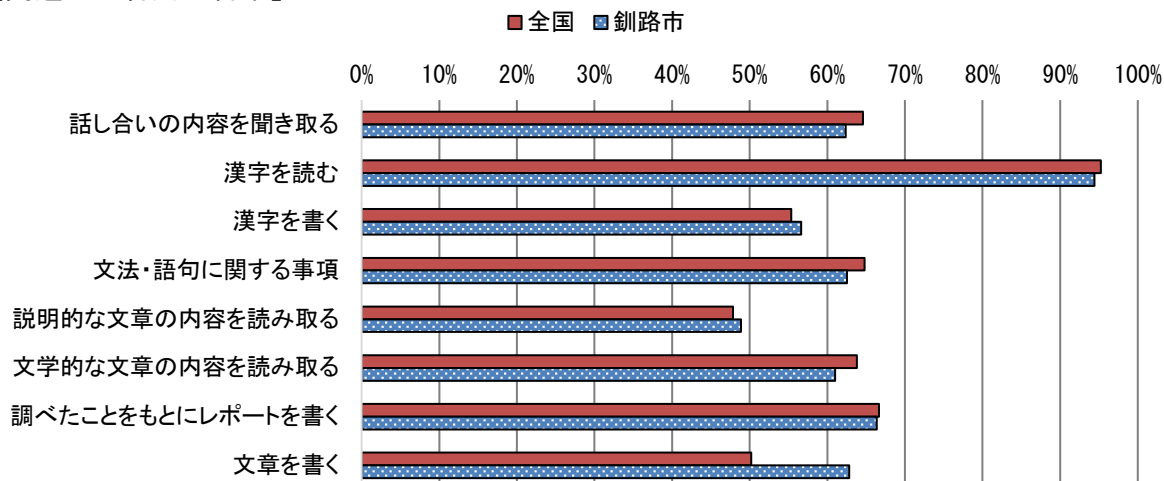
対称な図形の見方を深めるために、線対称、点対称の意味について、観察や構成、作図などの活動を通して理解できるようにし、線対称な図形、点対称な図形、線対称かつ点対称な図形を弁別するなどの学習活動を充実させましょう。

○ 図や式などを用いて数量の関係どうしを比で比べる指導の充実

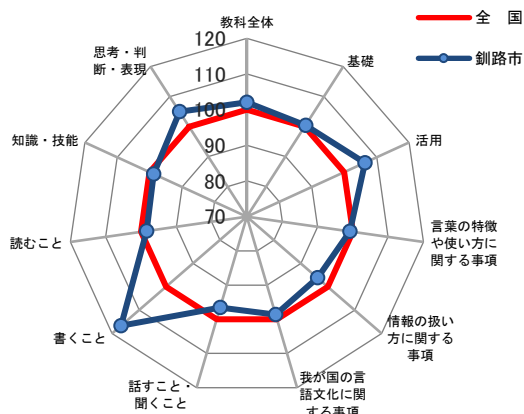
目的に応じて数量の関係を図や式などを用いて考察し、得られた結果を日常の事象に戻してその意味を考え、必要に応じて考察の方法や表現方法を見直す学習活動を充実させましょう。

9 中学校1年生（国語）

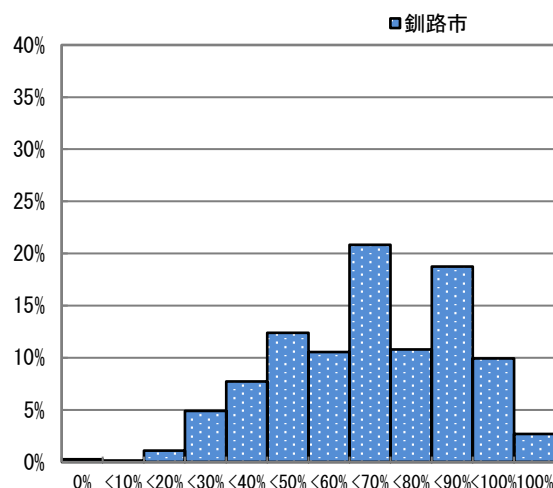
【問題の内容別正答率】



【標準スコアによるカテゴリー間の比較】



【正答率度数分布】



【結果と傾向】

- ・教科全体の正答率は、64.3%（全国平均63.0%）である。カテゴリー別正答率においては、「書くこと」で上回っている一方、それ以外の項目で下回っている。
- ・問題の内容別正答率においては、「文章を書く」、「漢字を書く」、「説明的な文章の内容を読み取る」で上回っている一方、「文学的な文章の内容を読み取る」、「文法・語句に関する事項」、「話し合いの内容を聞き取る」、「漢字を読む」、「調べたことをもとにレポートを書く」で下回っている。
- ・特に全国平均を上回った設問は、「文章を書く」の設問における「目的や意図に応じて、伝えたいことを明確にすること」、「書く内容の中心が明確になるように、文章の構成や展開を考えること」、「自分の考えが伝わる文章になるように工夫すること」等である。
- ・特に全国平均を下回った設問は、「話し合いの内容を聞き取る」の設問における「自分の考えや根拠が明確になるように、話の構成を考えること」、「文法・語句に関する事項」の設問における「漢字の部首について理解すること」等である。

【今後の指導について】

○ 自分の考えやその根拠が明確になるように話を構成する指導の充実

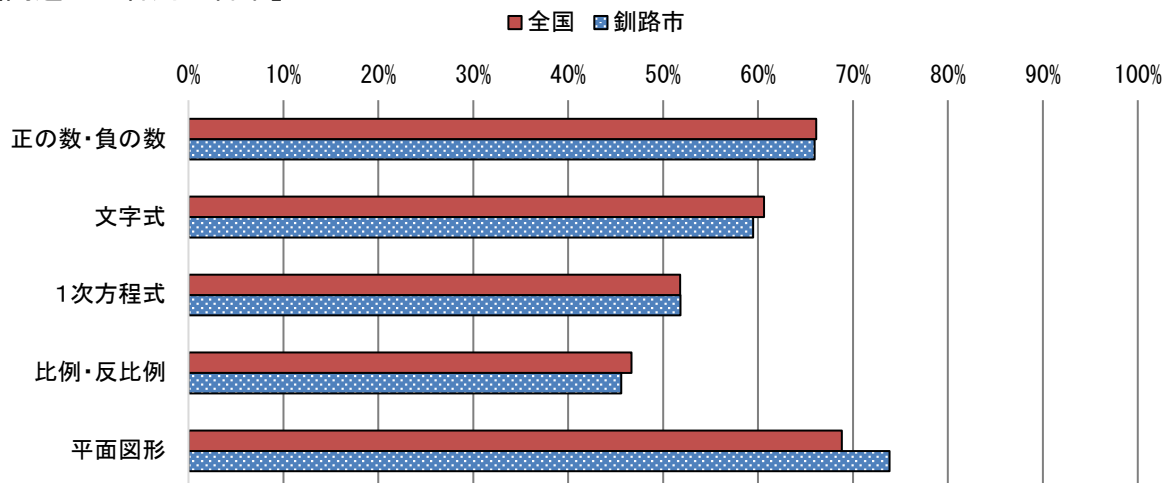
- ・内容を分かりやすく伝えるために、集めた材料や具体的な事実、自分の感じたことや考えたことなどをどのように配列するかを考えたり、接続する語句や文末表現などに注意したりする学習活動を充実させましょう。

○ 漢字の学習の際に、成り立ちや漢字の構成を理解し、活用する指導の充実

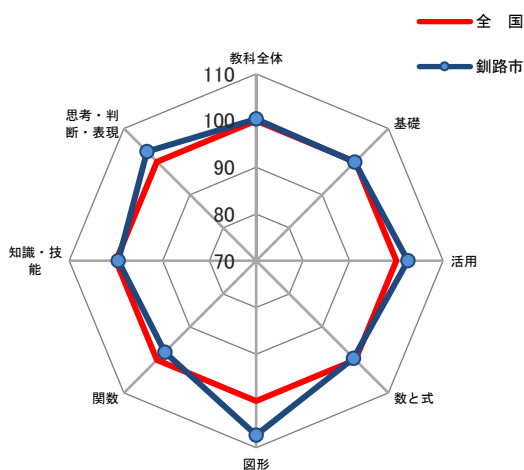
- ・語の成り立ちについて学習する際に、漢字のへんやつくりから漢字を調べたり、漢字の字義や読み方を推測したりし、他教科の学習や日常の会話の中でも漢字の活用について意識するような学習活動を充実させましょう。

10 中学校1年生（数学）

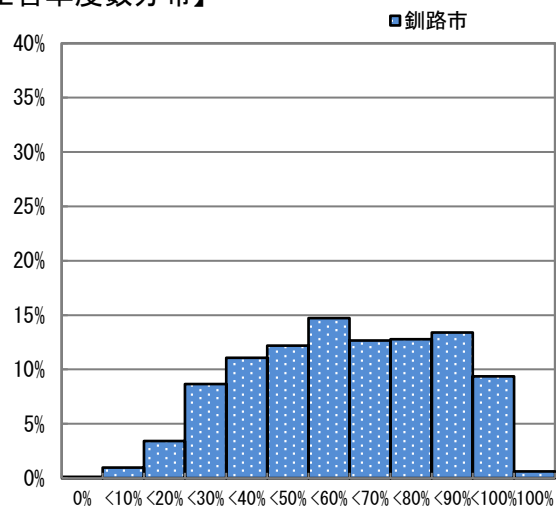
【問題の内容別正答率】



【標準スコアによるカテゴリ間の比較】



【正答率度数分布】



【結果と傾向】

- ・教科全体の正答率は、57.2%（全国平均57.0%）である。カテゴリ別正答率においては、「数と式」「関数」の項目で下回っている。
- ・問題の内容別正答率においては、「平面図形」で上回っている一方、「文字式」、「比例・反比例」、「正の数・負の数」で下回っている。
- ・全国平均を上回った設問は、「平面図形」の設問における「三角形を対称移動させたときの図形をかくこと」、「1次方程式」の設問における「分数を含む1次方程式を解くこと」等である。
- ・特に全国平均を下回った設問は、「文字式」の設問における「1次式の加法」、「比例・反比例」の設問における「比例の式から、そのグラフをかくこと」等である。

【今後の指導について】

○ 文字式の計算ができるようにする

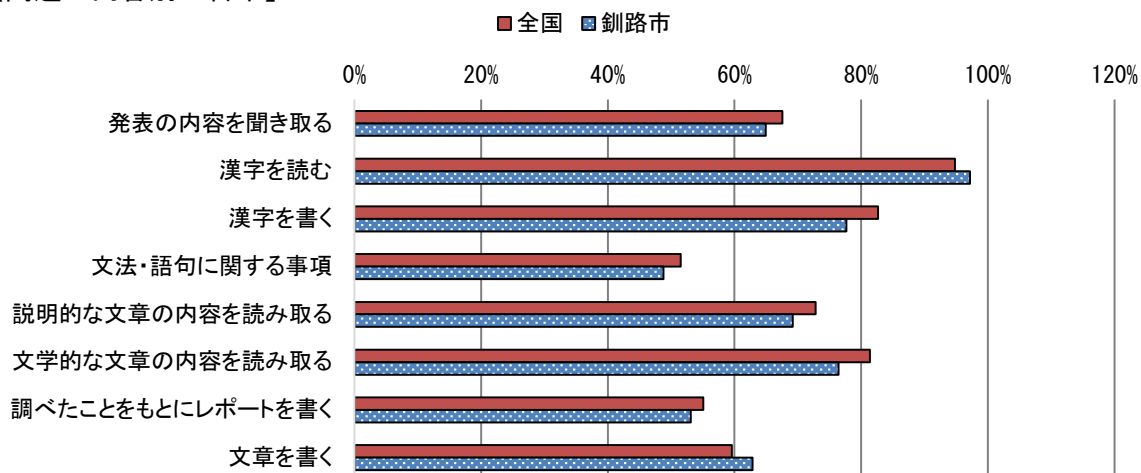
- ・文字式の計算を確実にできるようにするために、誤答例を取り上げ、分配法則を確認した上で、正しい解法に修正する学習活動を充実させましょう。

○ 式とグラフの特徴について、それらを関連させて理解できるようにする

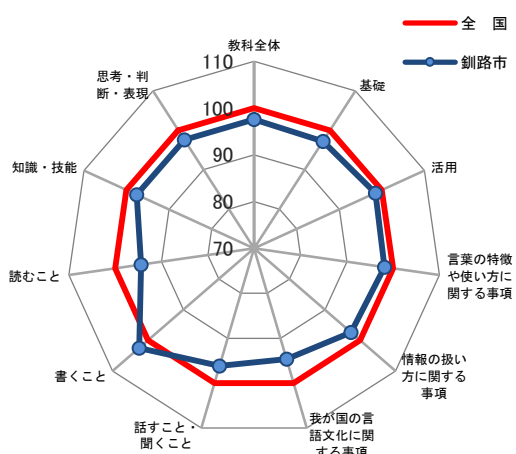
- ・比例のグラフは原点を通る直線であり、その傾きは比例定数の値によって決まることを理解することができるようにするために、様々な比例定数のグラフをかき、その値によってどのようにグラフが変わるかを考察する場面を設定する学習活動を充実させましょう。

1 1 中学校 2 年生（国語）

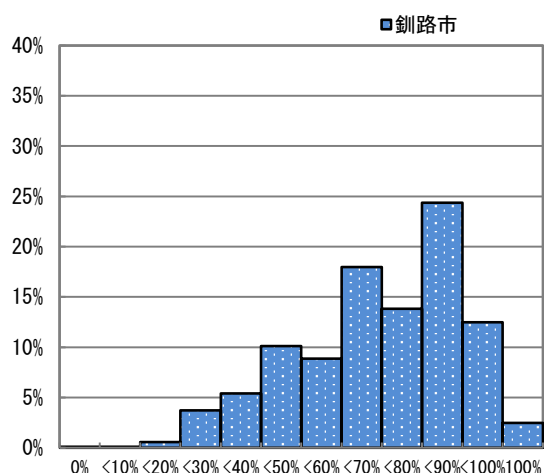
【問題の内容別正答率】



【標準スコアによるカテゴリー間の比較】



【正答率度数分布】



【結果と傾向】

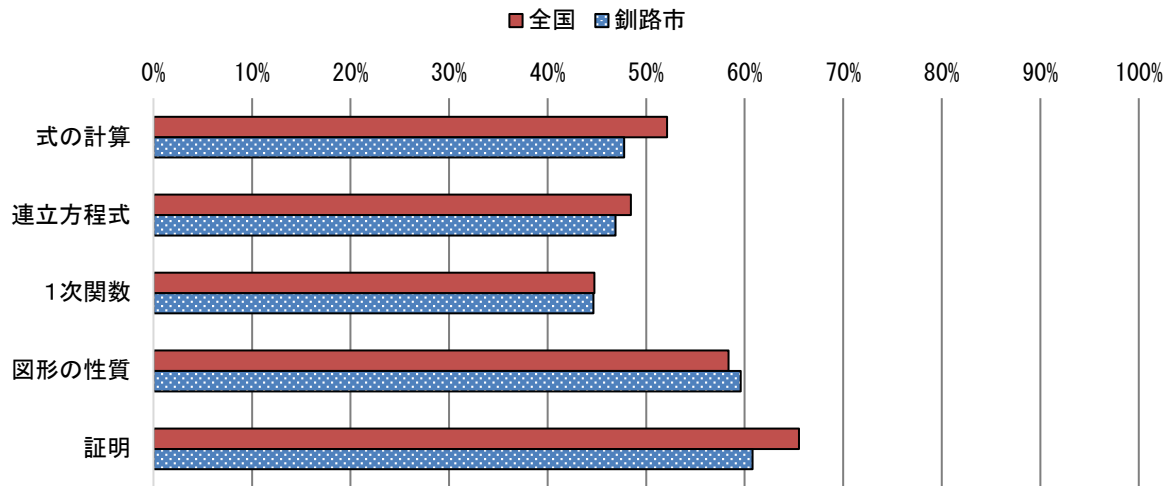
- ・教科全体の正答率は、68.5%（全国平均70.2%）である。カテゴリー別正答率においては、「書くこと」の項目で上回っているが、それ以外の項目で下回っている。
- ・問題の内容別正答率においては、「文章を書く」、「漢字を読む」で上回っている一方、「文学的な文章の内容を読み取る」、「漢字を書く」、「説明的な文章の内容を読み取る」、「文法・語句に関する事項」、「発表の内容を聞き取る」、「調べたことをもとにレポートを書く」で下回っている。
- ・特に全国平均を上回った設問は、「漢字を読む」の設問における「第2学年までに学習した漢字を正しく読むこと」、「文章を書く」の設問における「自分の考えが伝わる文章になるように工夫すること」等である。
- ・特に全国平均を下回った設問は、「文学的な文章の内容を読み取る」の設問における「文章を読んで考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを深めること」、「文法・語句に関する事項」の設問における「現代語訳を手掛かりに古典を読むこと」等である。

【今後の指導について】

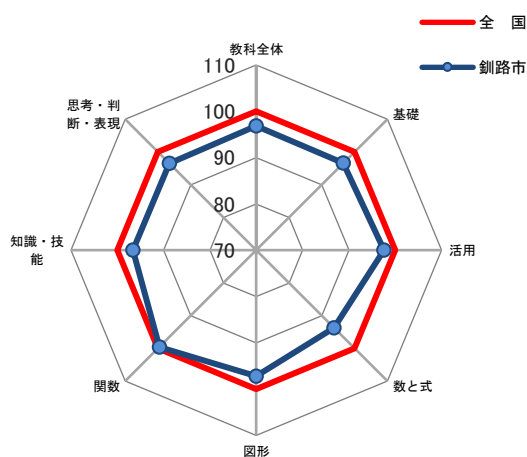
- 文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、具体的で明確なものにしていく指導の充実
 - ・他者の考えやその根拠、考えの道筋などを知り、共感したり疑問をもったり自分の考えと対比したりすることで、自分の考えを広げたり深めたりする学習活動を充実させましょう。
- 古典に描かれた情景や登場人物の心情などが想像できる指導の充実
 - ・関連する本や文章などを紹介したり、音声や映像メディアを活用したりするなど指導上の様々な工夫をし、登場人物の言動や作者の思いを考えることを通して、作品を貫くものの見方や考え方を捉える学習活動を充実させましょう。

1 2 中学校 2 年生（数学）

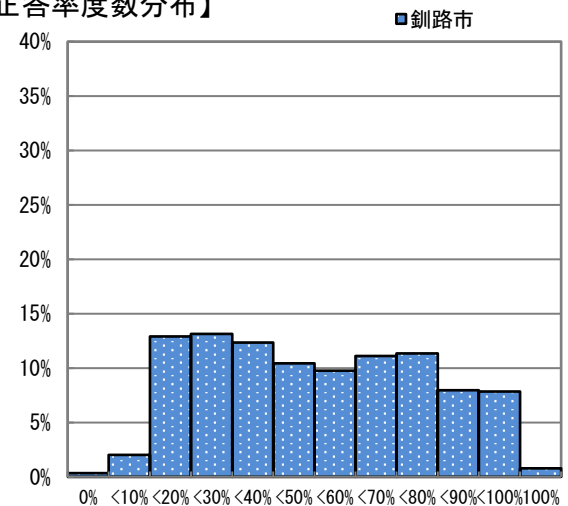
【問題の内容別正答率】



【標準スコアによるカテゴリ間の比較】



【正答率度数分布】



【結果と傾向】

- ・教科全体の正答率は、48.9%（全国平均50.5%）である。カテゴリ別正答率においては、全ての項目で下回っている。
- ・問題の内容別正答率においては、「図形の性質」で上回っている一方、「証明」、「式の計算」、「連立方程式」、「1次関数」で下回っている。
- ・全国平均を上回った設問は、「連立方程式」の設問における「与えられた文章問題に対して、適切な連立方程式を立式すること」、「図形の性質」の設問における「多角形の外角の和について理解し、角の大きさを求めること」等である。
- ・特に全国平均を下回った設問は、「式の計算」の設問における「多項式の同類項をまとめる計算」、「連立方程式」の設問における「代入法の原理を理解し、それを使って連立方程式を解くこと」等である。

【今後の指導について】

○ 文字式の計算をできるようにする

- ・文字式の計算を確実にできるようにするために、誤答例を取り上げ、どこに誤りがあるかを見いだし、係数に着目して正しく計算する方法を確認する学習活動を充実させましょう。

○ 連立二元一次方程式を工夫して解くことができるようにする

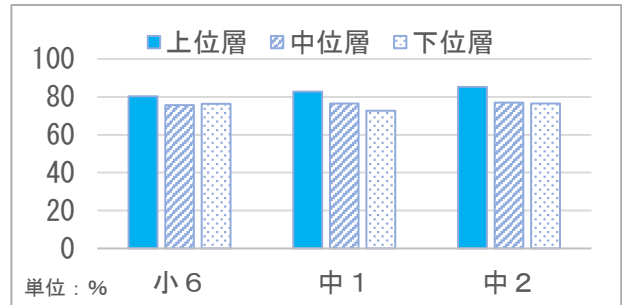
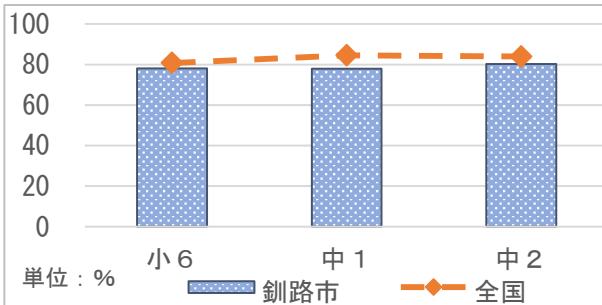
- ・連立二元一次方程式を、加減法や代入法を用いて解き、それぞれの解き方を比較することにより、どちらも二つの文字のうち一方の文字を消去して一元一次方程式に変形して解くことから、連立二元一次方程式を解く際には、一元一次方程式に帰着させるという考え方に生徒自らが気付ける学習活動を充実させましょう。

Ⅲ 生活行動・学習活動調査結果の概要

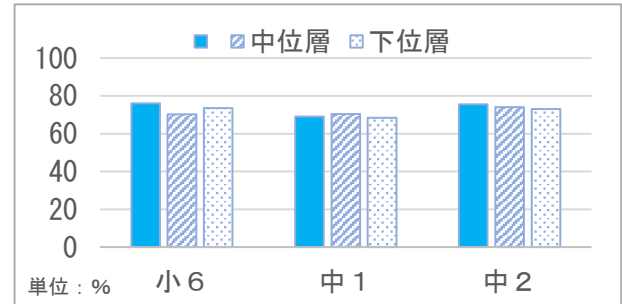
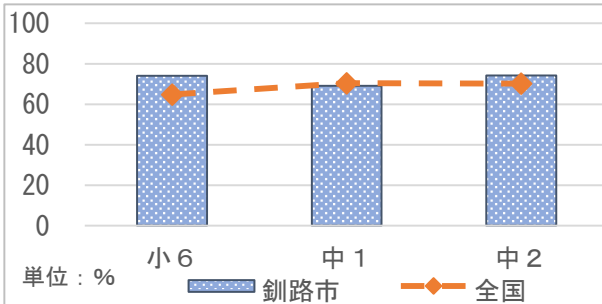
(1) 「生活行動」に関する項目

1 朝は、時刻を決めて起きている

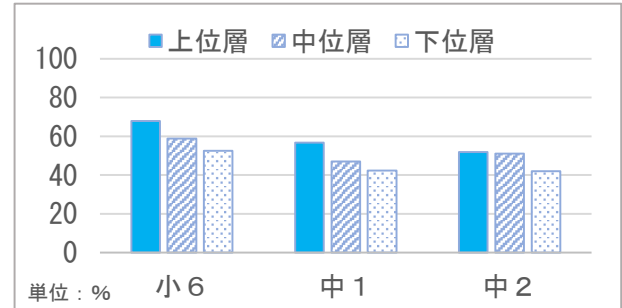
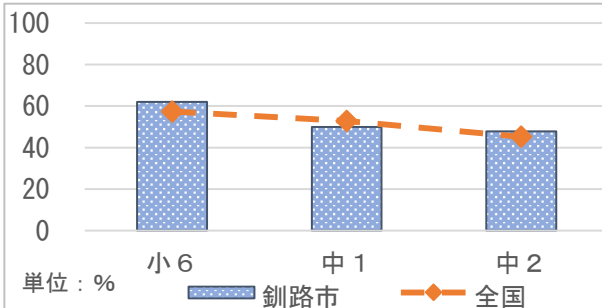
<クロス集計>



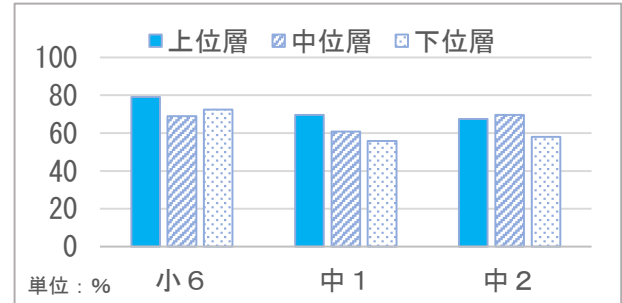
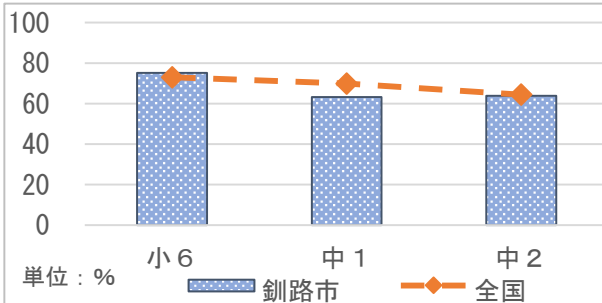
2 朝は、自分で起きている



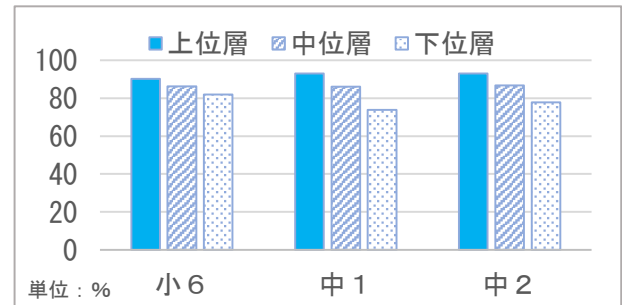
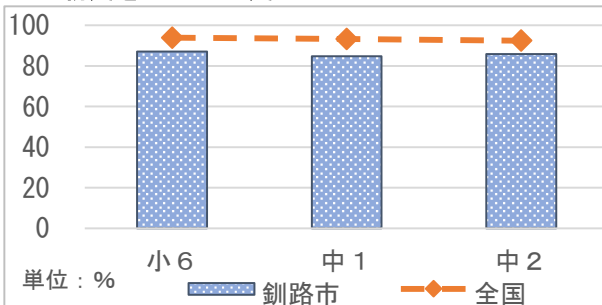
3 夜は、時刻を決めて寝ている



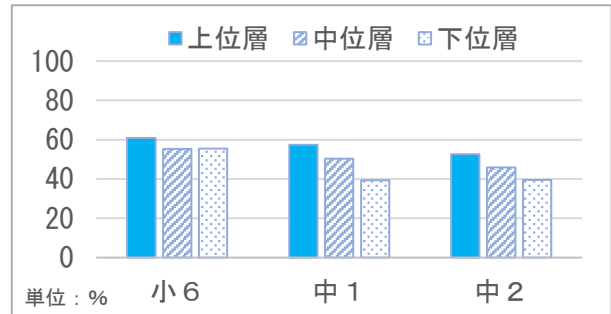
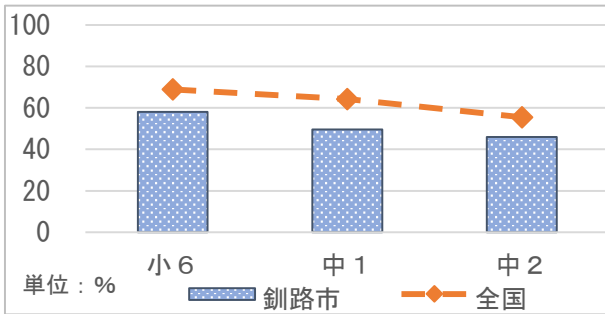
4 睡眠不足にならないようにしている



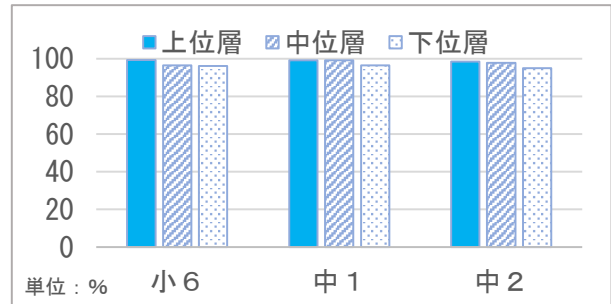
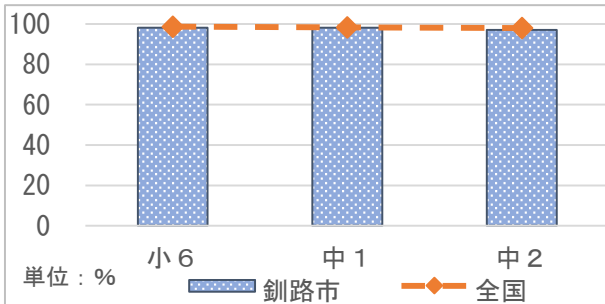
5 朝食をきちんと食べている



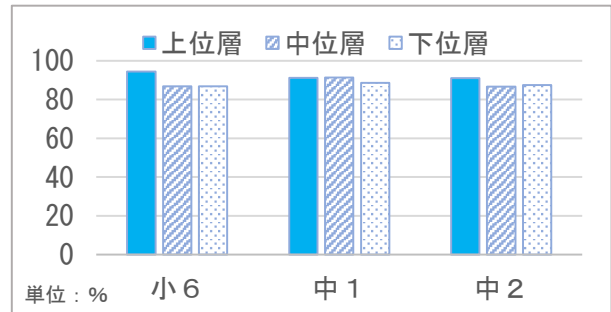
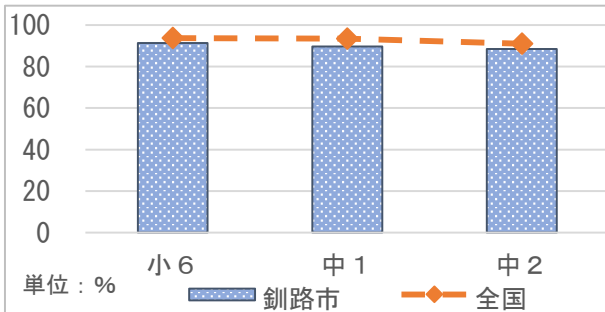
6 朝食は、家の人といっしょに食べている



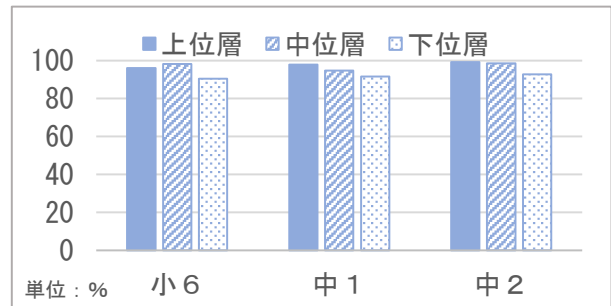
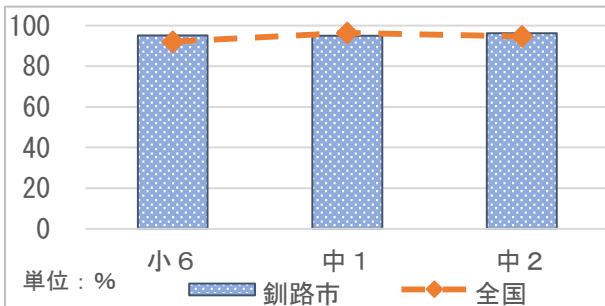
7 夕食をきちんと食べている



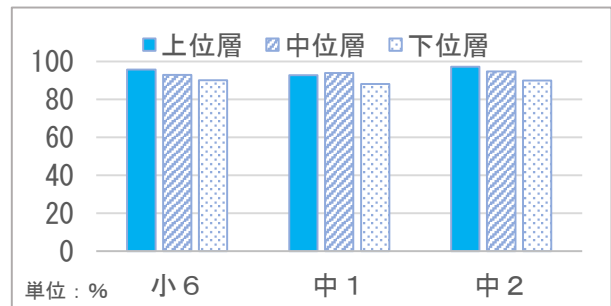
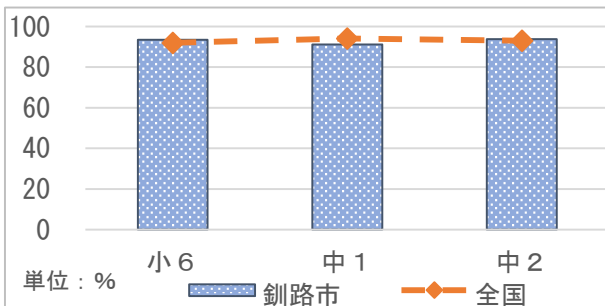
8 夕食は、家の人といっしょに食べている



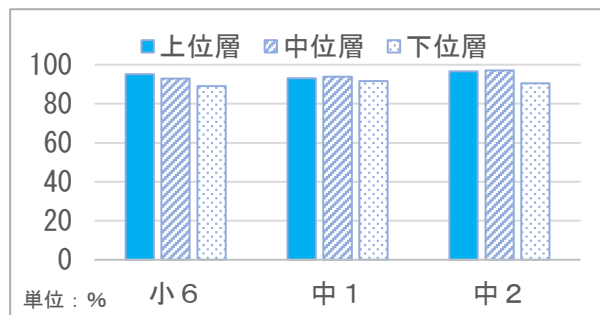
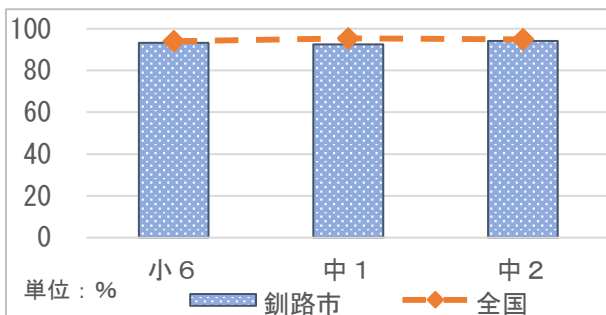
9 学校のきまりを守っている



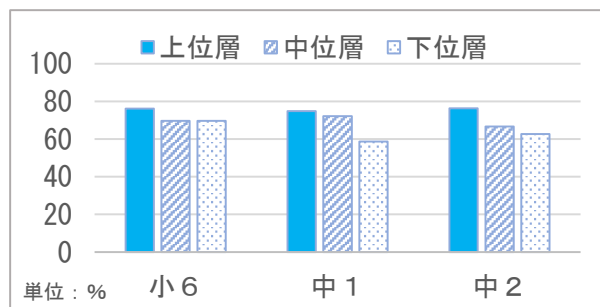
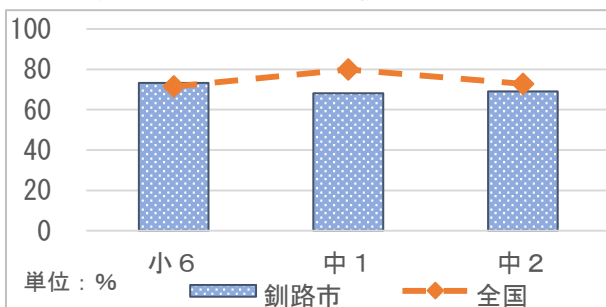
10 学校では、先生に挨拶をしている



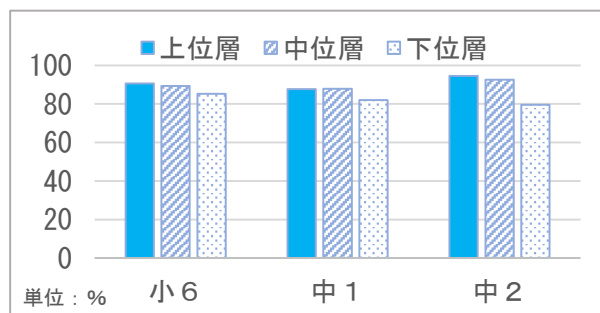
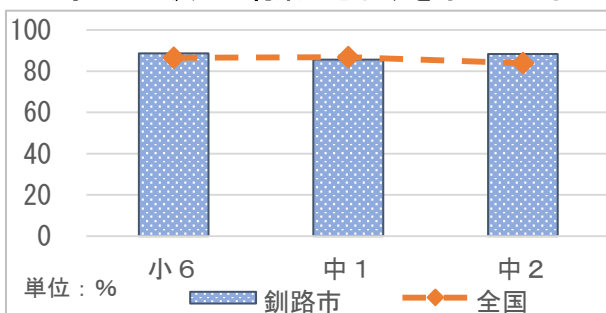
11 学校で使う物は、自分で用意している



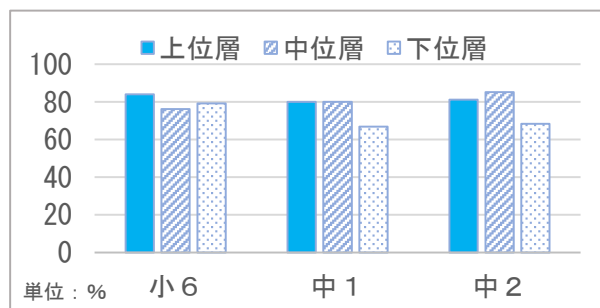
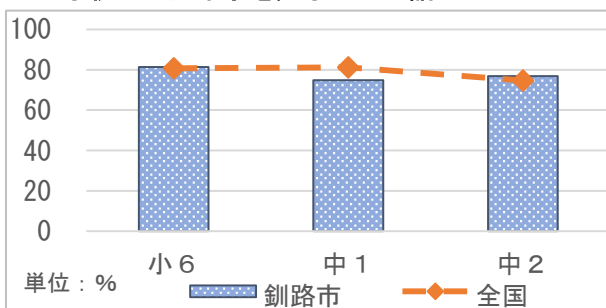
12 学校に出かける前に忘れ物がないか確かめている



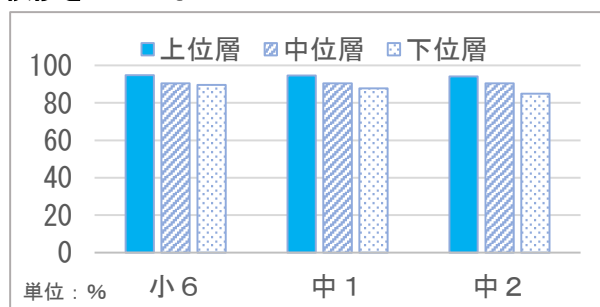
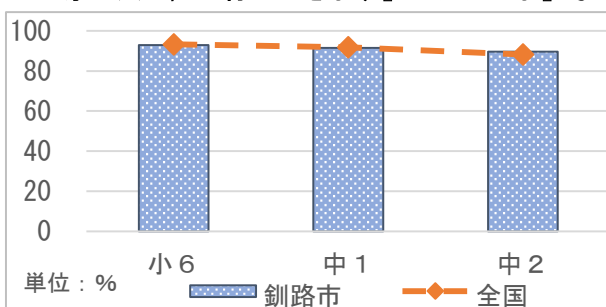
13 家の人と決めた約束やきまりを守っている



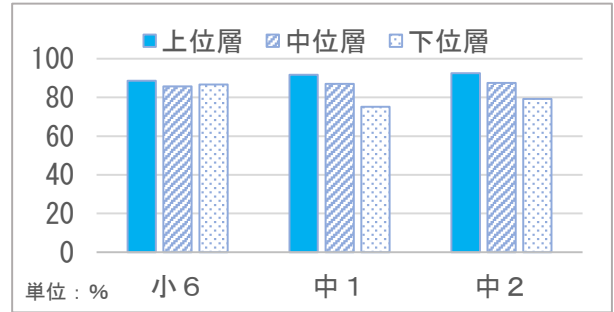
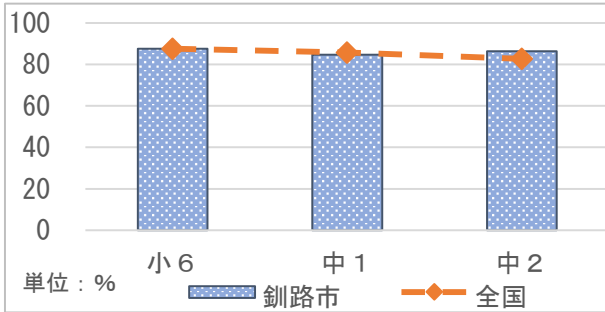
14 学校での出来事を、家の人に話している



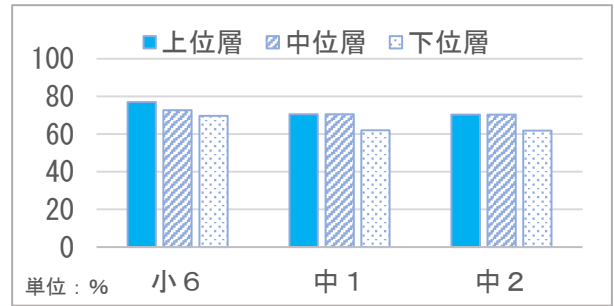
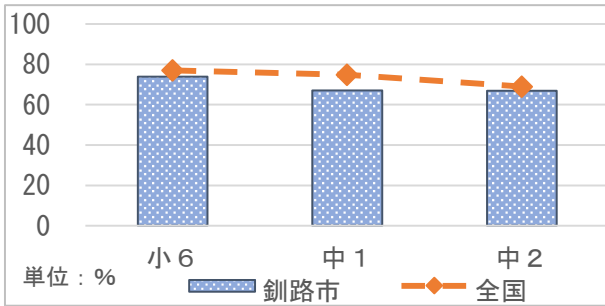
15 家の人に、「行ってきます」「ただいま」などの挨拶をしている



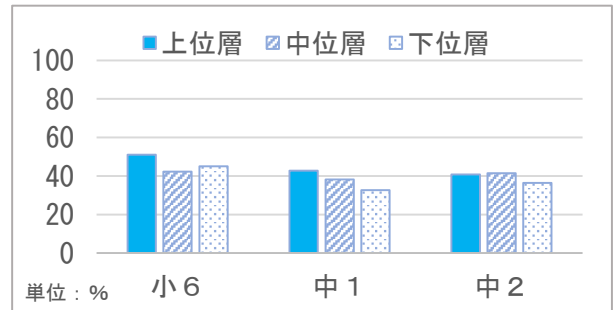
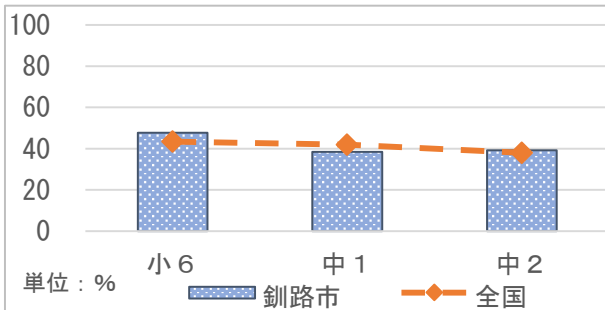
16 出かけるときは、家の人に行き先を言っている



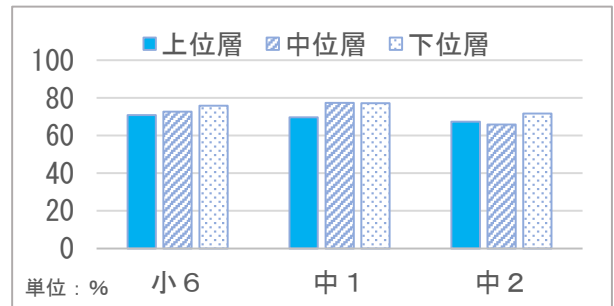
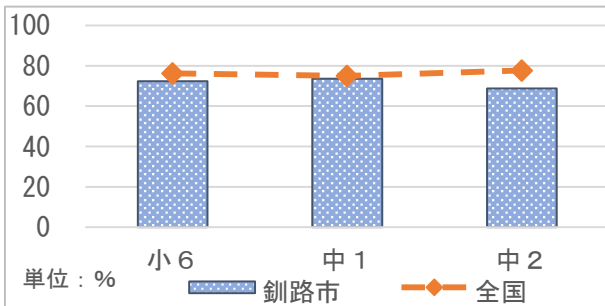
17 自分で時間を決めて、遊んでいる



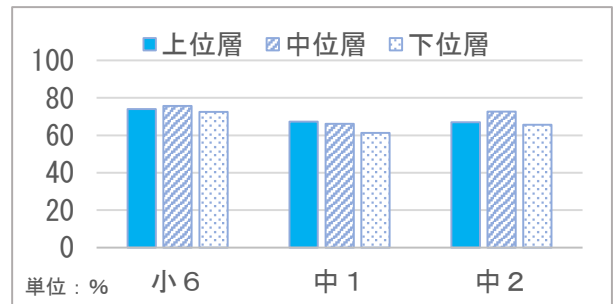
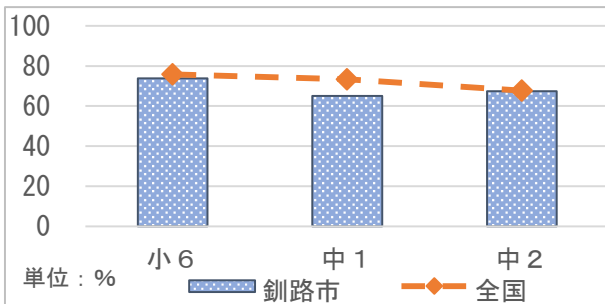
18 自分で時間を決めて、テレビを見ている



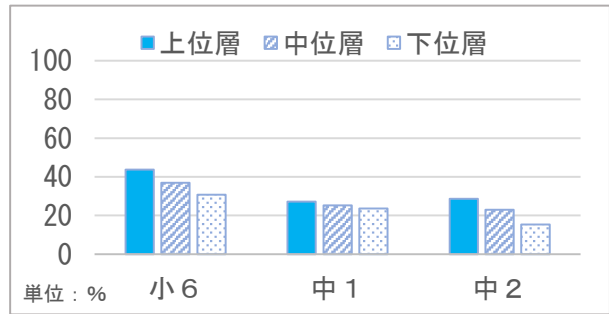
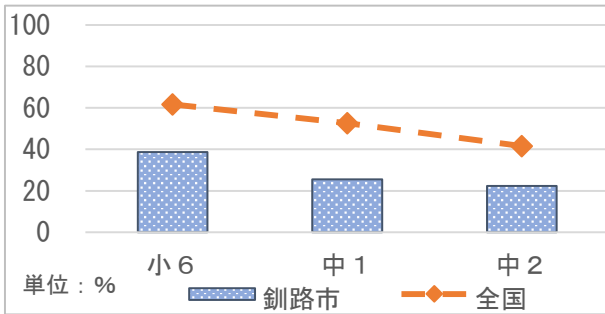
19 体育の授業のほかに運動をしている



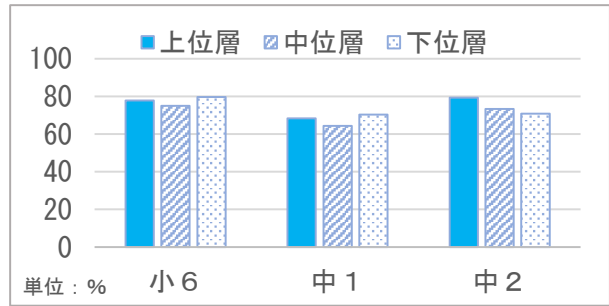
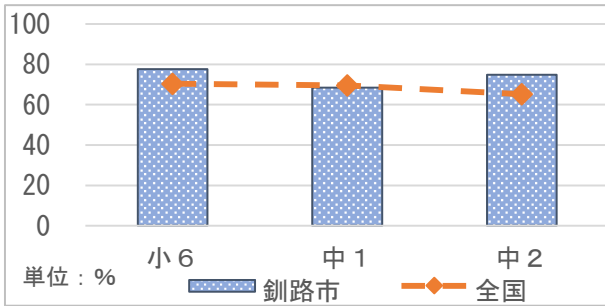
20 家の手伝い（ゴミ出しなど）をしている



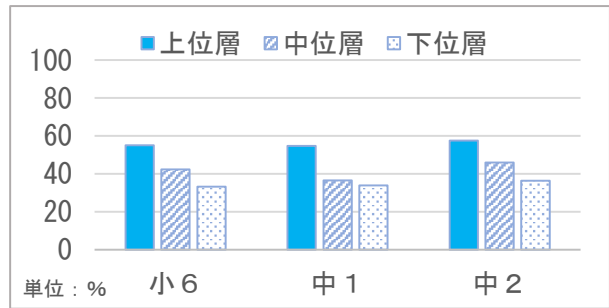
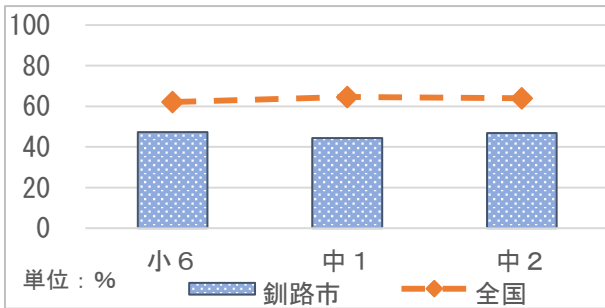
21 地域の行事に参加している



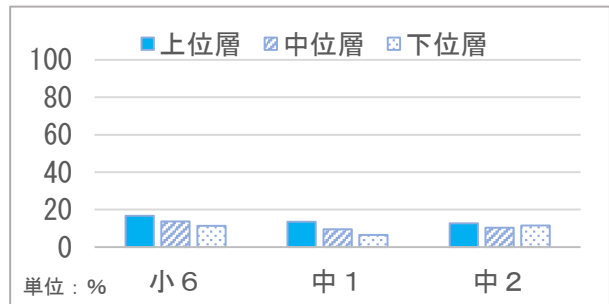
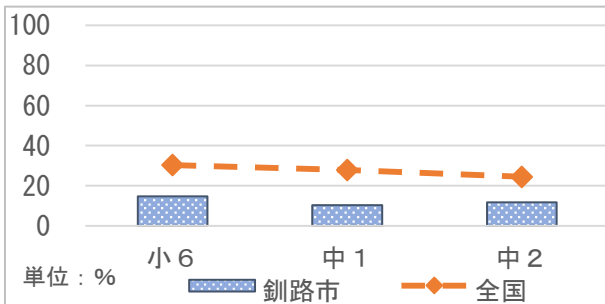
22 困っている人の手助けをしている



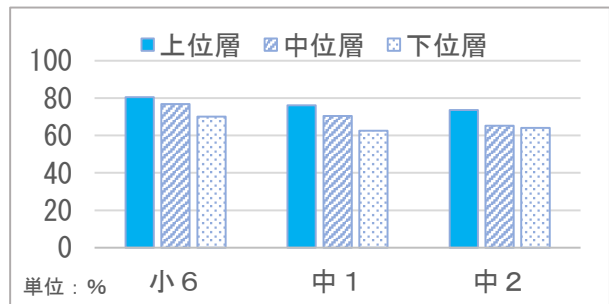
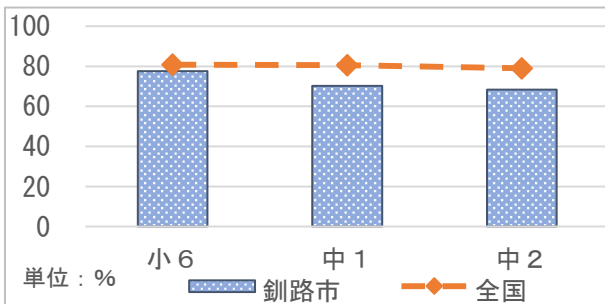
23 本（マンガや雑誌をふくまない）を読んでいる



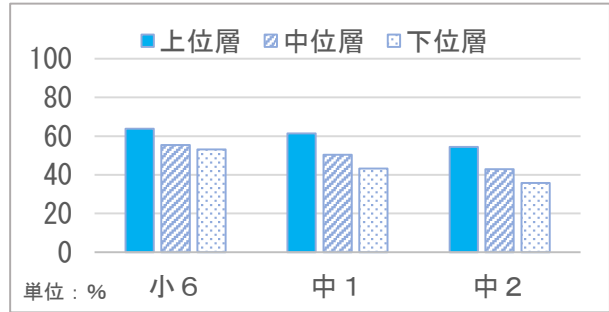
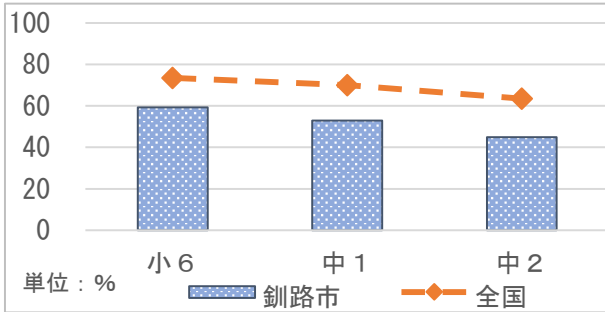
24 新聞の記事を読んでいる



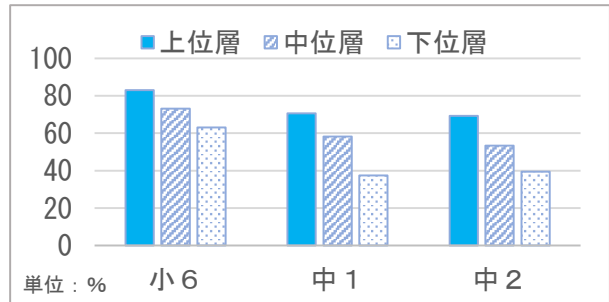
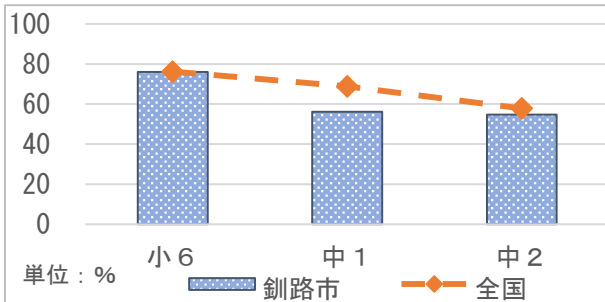
25 テレビのニュースを見ている



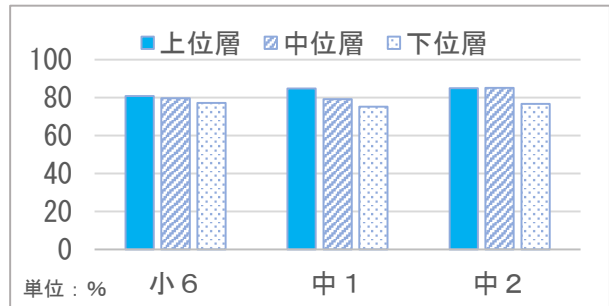
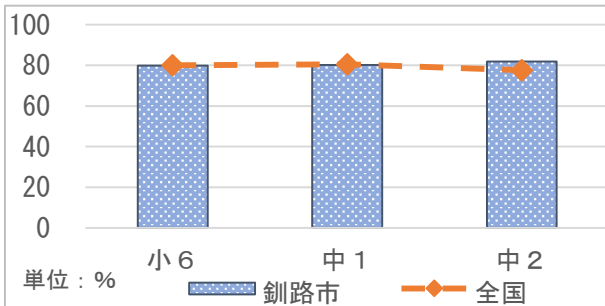
26 勉強に役立つテレビ番組（クイズ番組など）を見ている



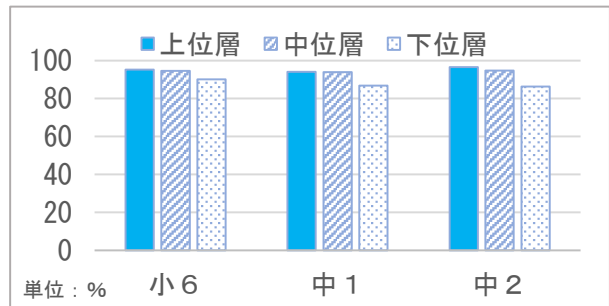
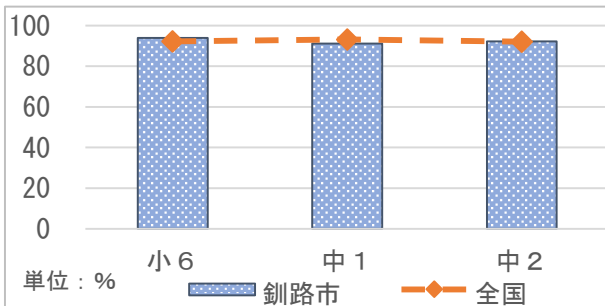
27 家の人から言われなくても、進んで勉強している



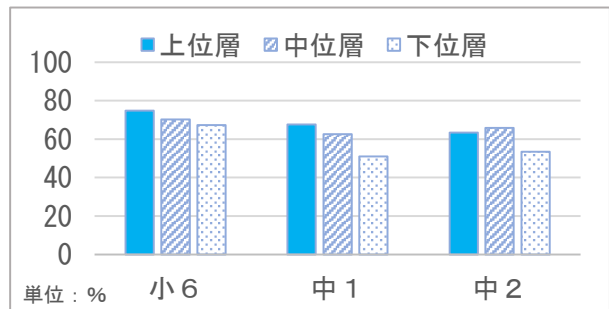
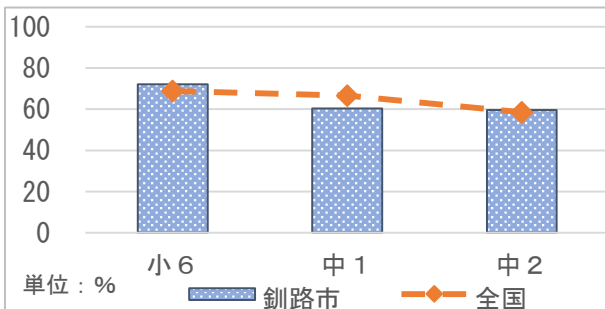
28 家では、勉強する場所を決めている



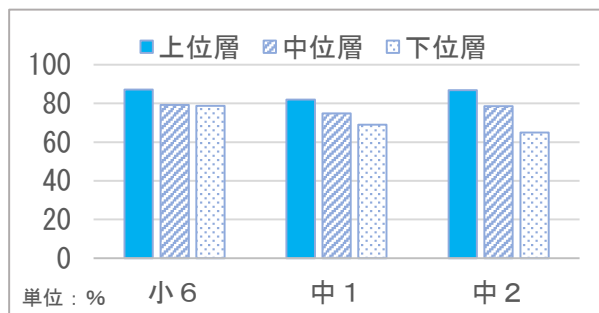
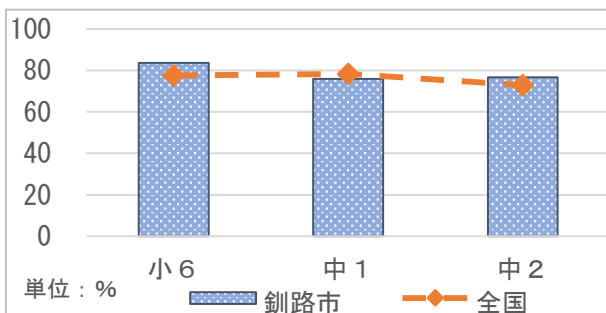
29 筆記用具などを用意してから、勉強している



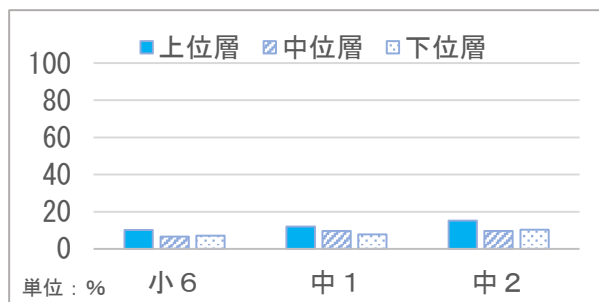
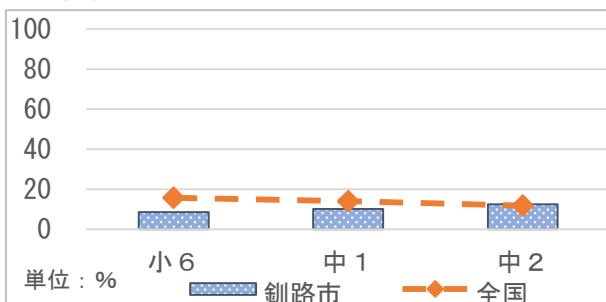
30 自分で勉強の計画を立てて、勉強している



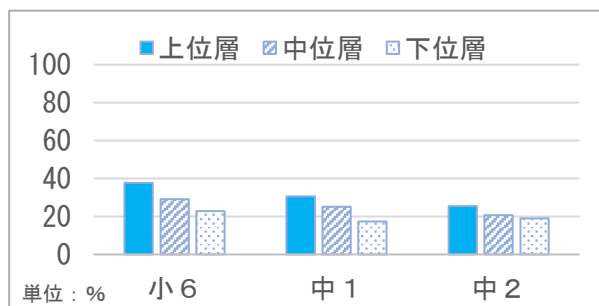
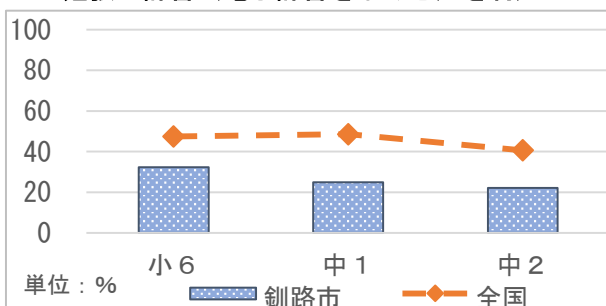
31 勉強するときは、集中して勉強している



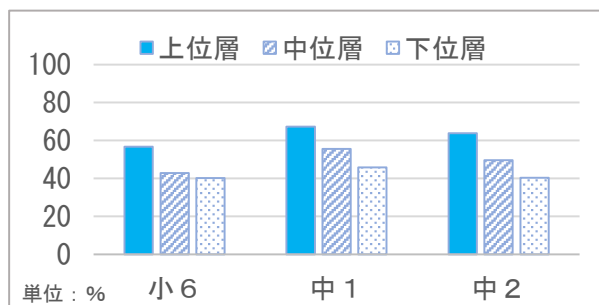
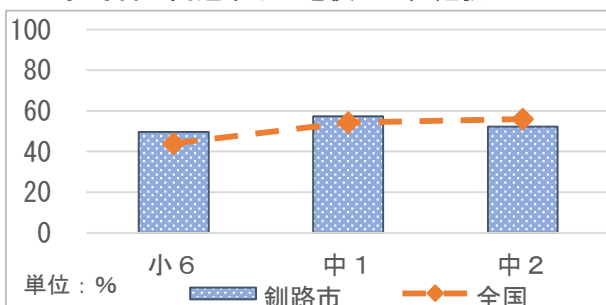
32 勉強に図書館を利用している



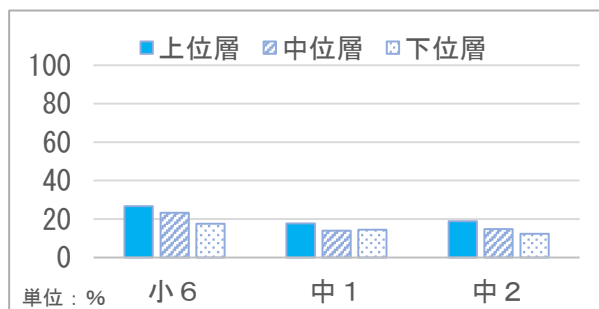
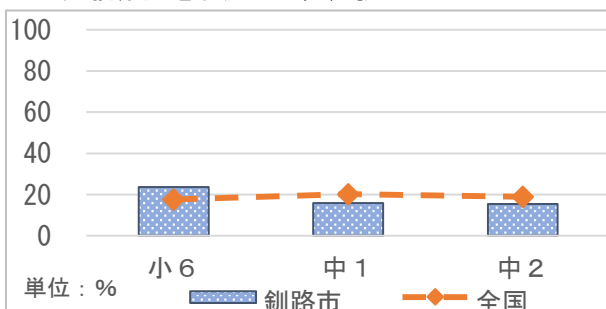
33 勉強に辞書（電子辞書をふくむ）を利用している



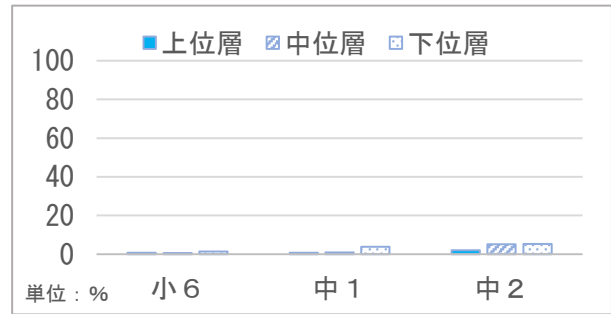
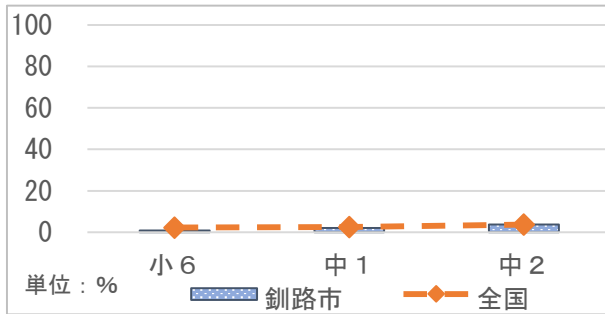
34 参考書や問題集などを使って、勉強している



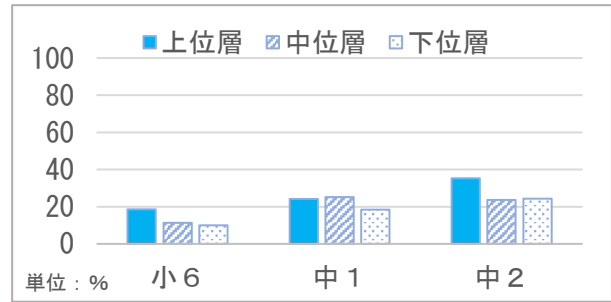
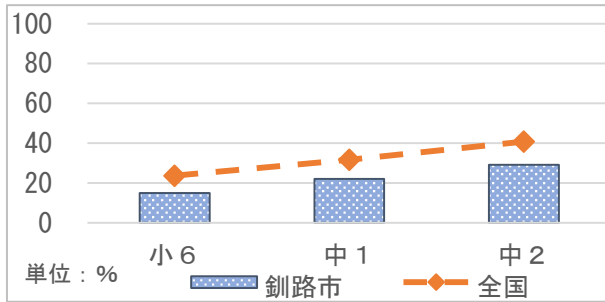
35 通信添削を利用して、勉強している



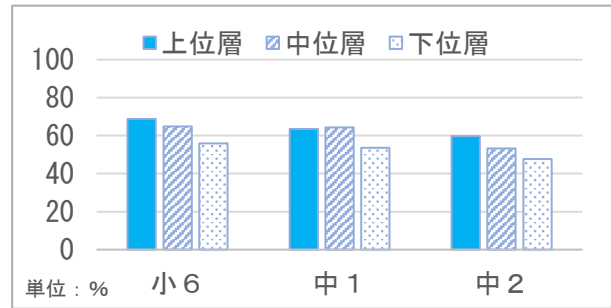
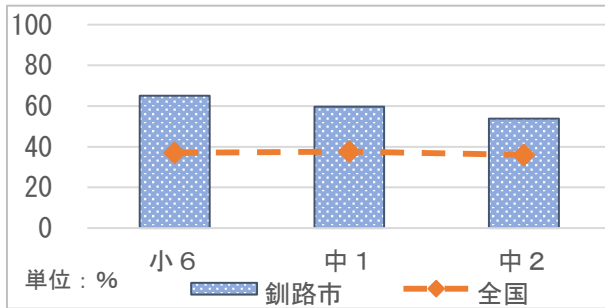
36 家庭教師に来てもらって、勉強している



37 学習塾に行つて、勉強している

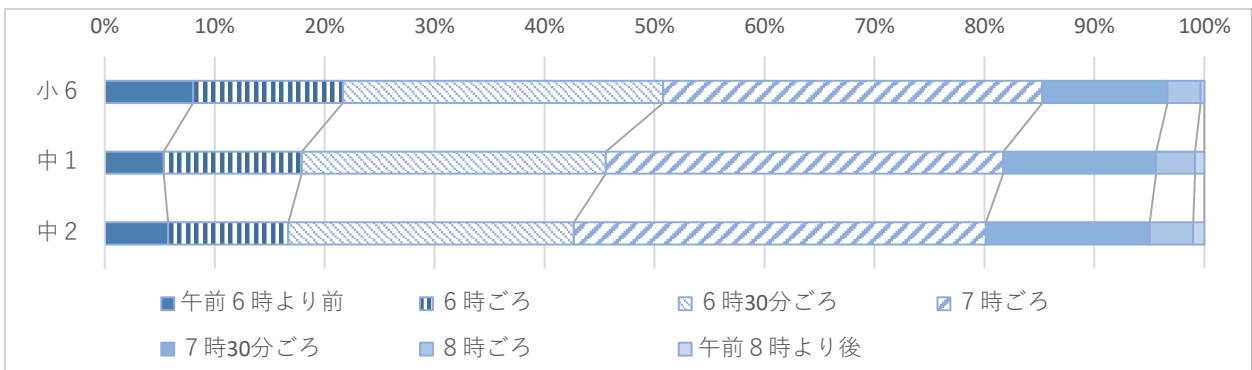


38 勉強にパソコン（インターネットをふくむ）を利用している

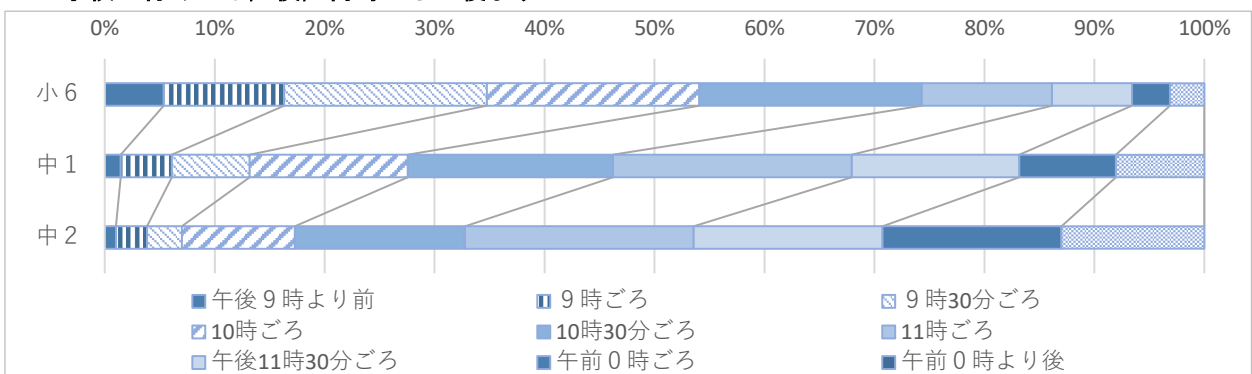


(2) 基本的な生活習慣等に関する項目

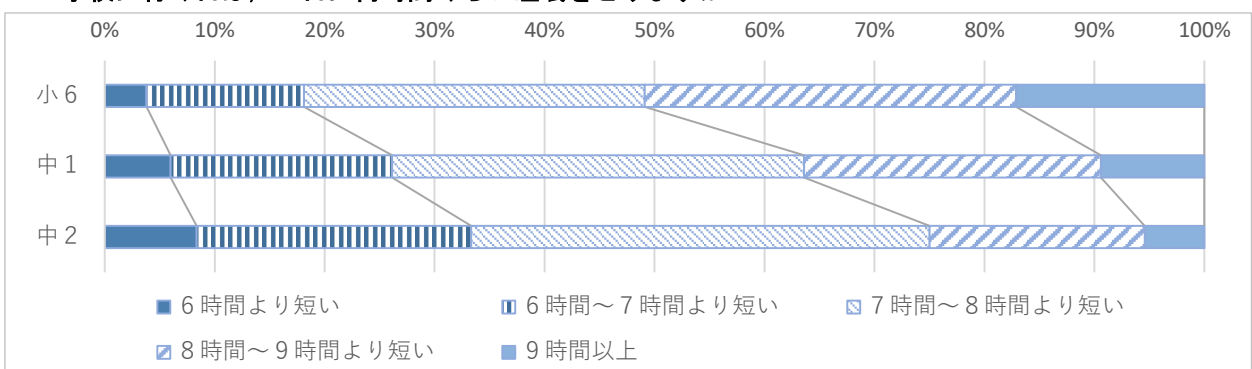
39 学校に行く日は、朝、何時ごろに起きますか



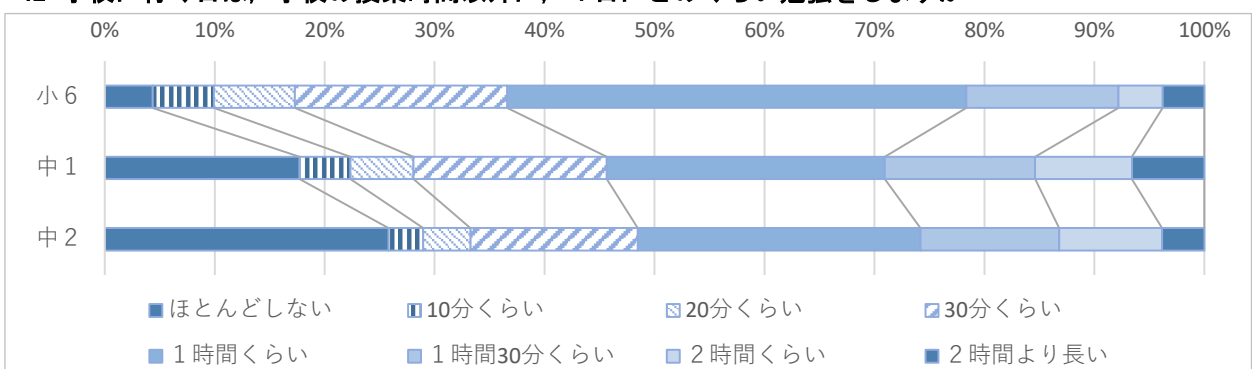
40 学校に行く日は、夜、何時ごろに寝ますか



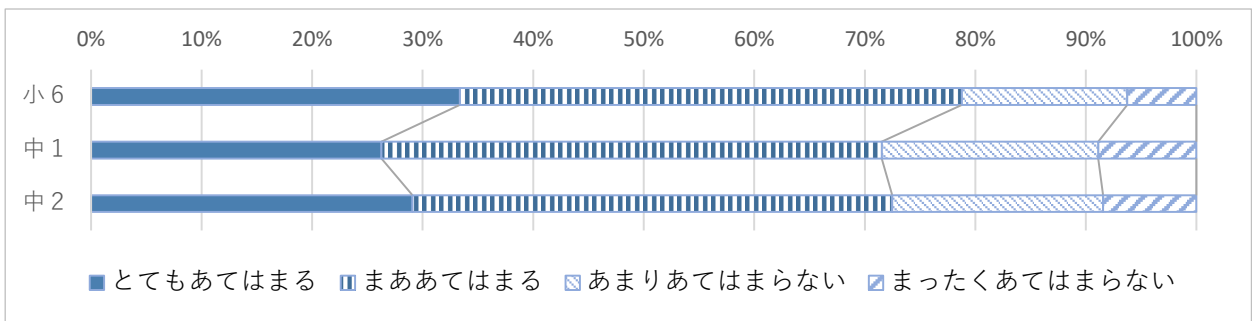
41 学校に行く日は、1日に何時間ぐらい睡眠をとりますか



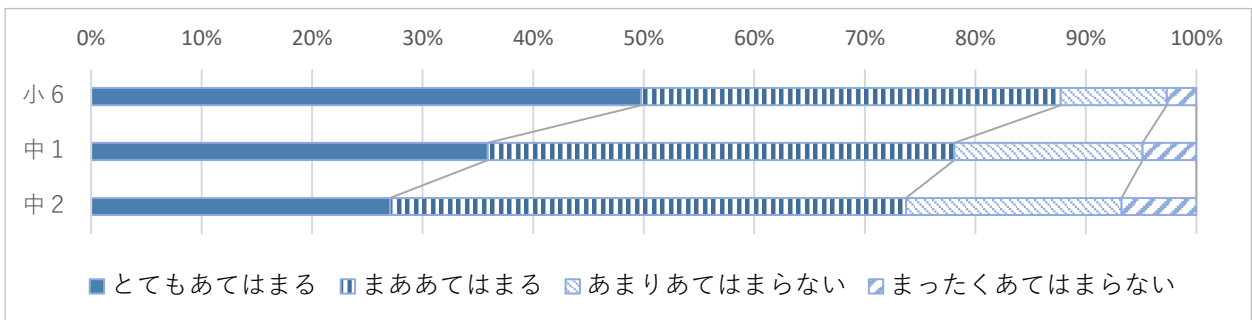
42 学校に行く日は、学校の授業時間以外に、1日にどのくらい勉強をしますか



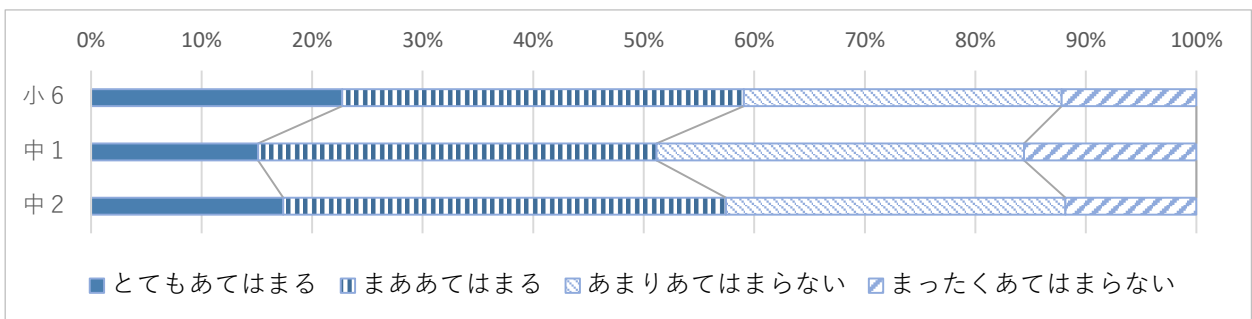
43 学校が好きである



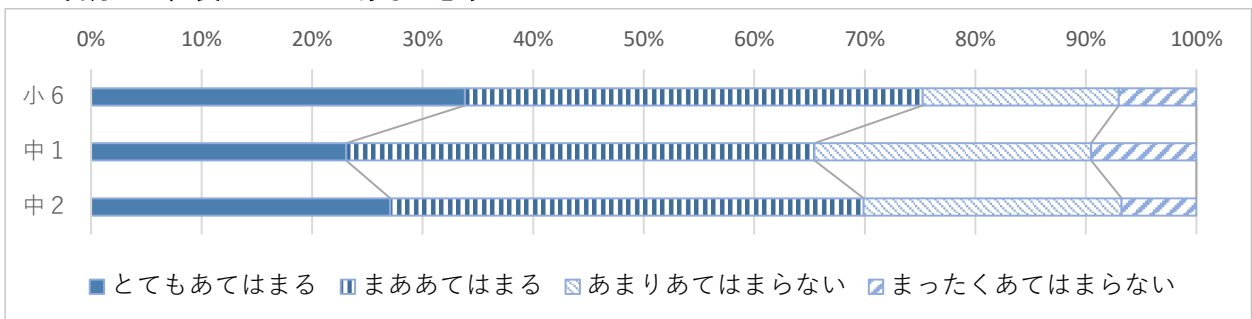
44 自分が住んでいる地域が好きである



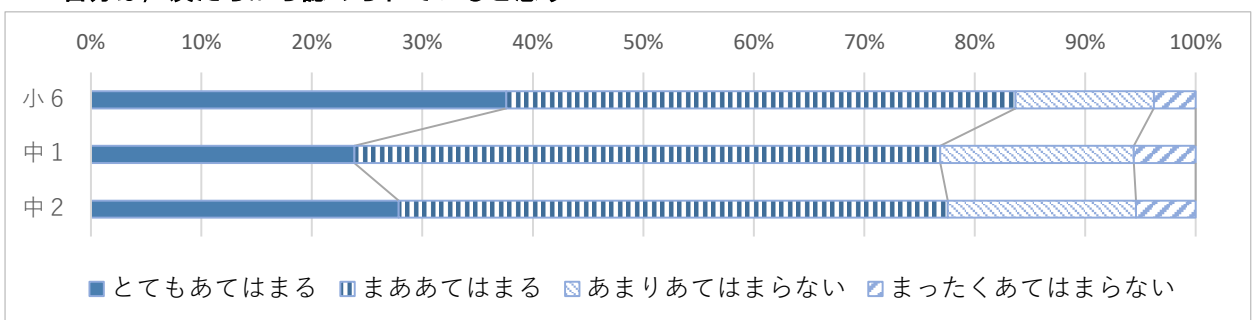
45 自分のことが好きである



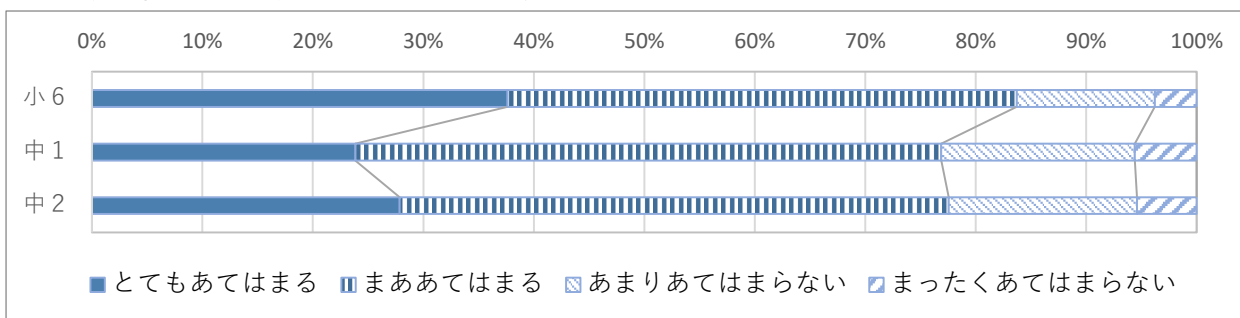
46 自分には、良いところがあると思う



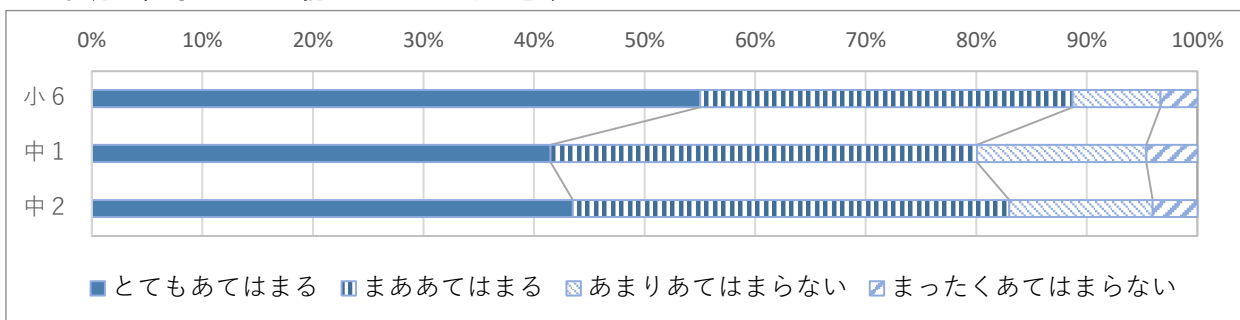
47 自分は、友だちから認められていると思う



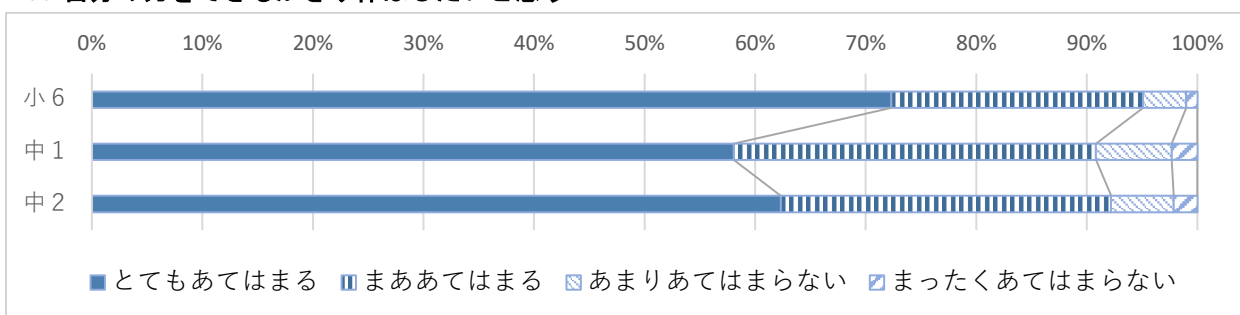
48 自分は、先生から認められていると思う



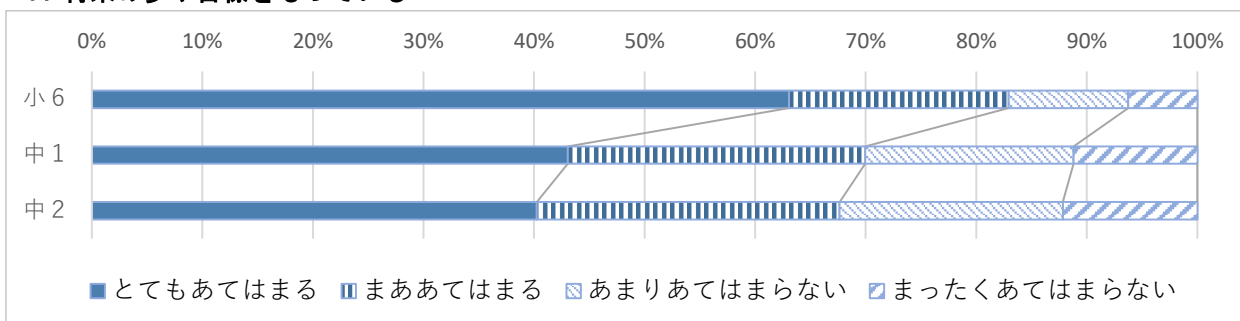
49 自分は、家の人から認められていると思う



50 自分の力をできるかぎり伸ばしたいと思う



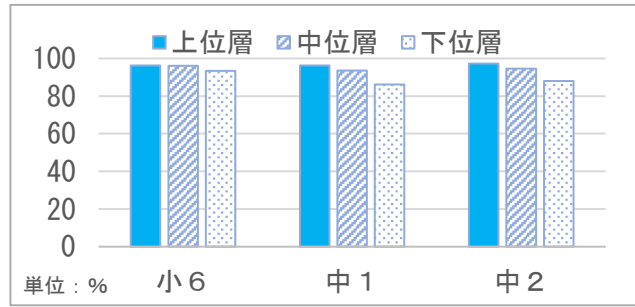
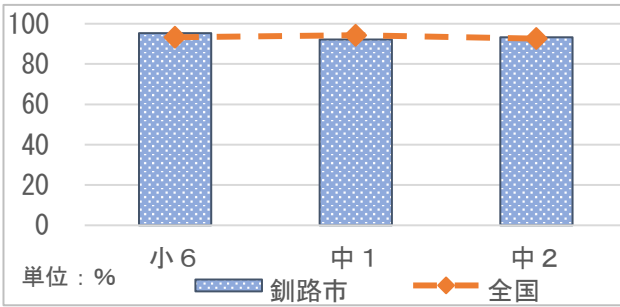
51 将来の夢や目標をもっている



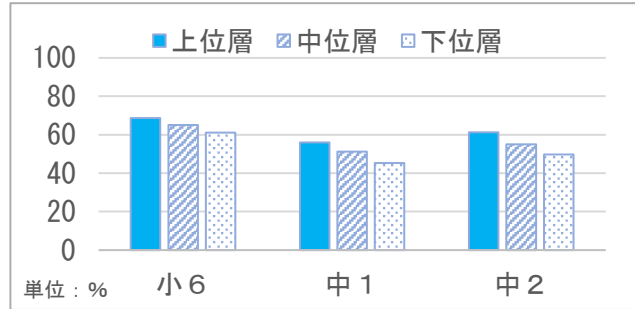
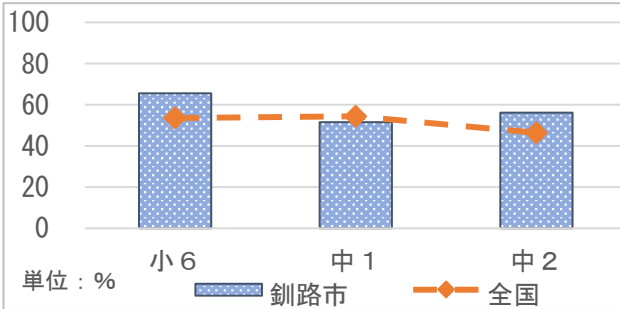
(3) 学習活動（国語）に関する項目

52 国語の授業では、先生の話をしっかり聞いている

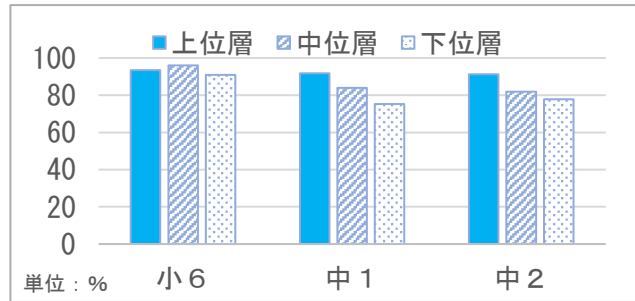
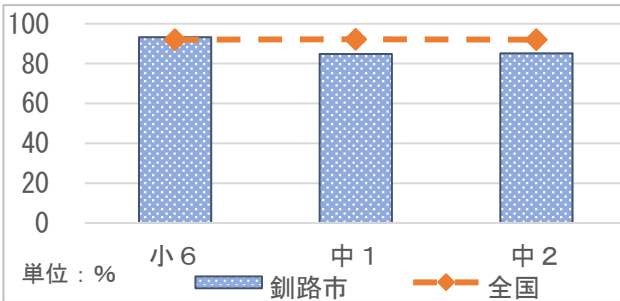
<クロス集計>



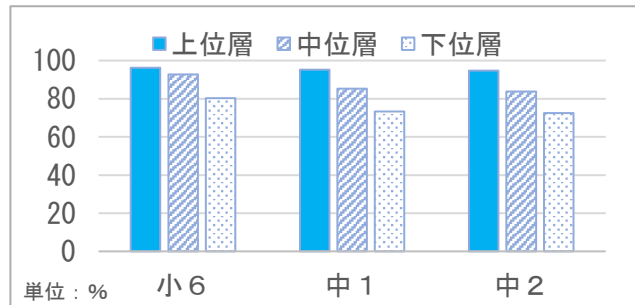
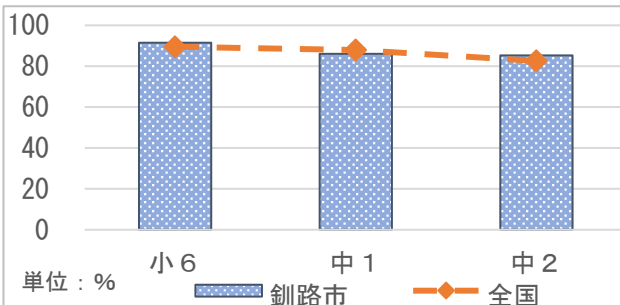
53 国語の授業で分からないことがあれば、先生に質問をしている



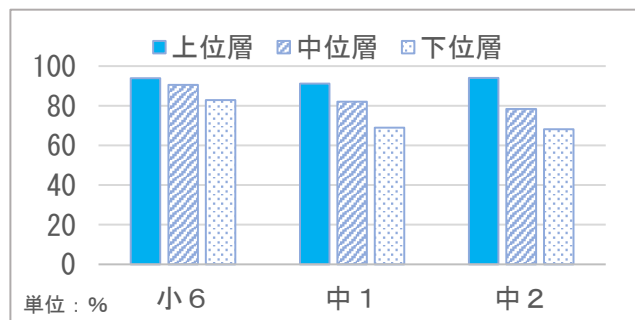
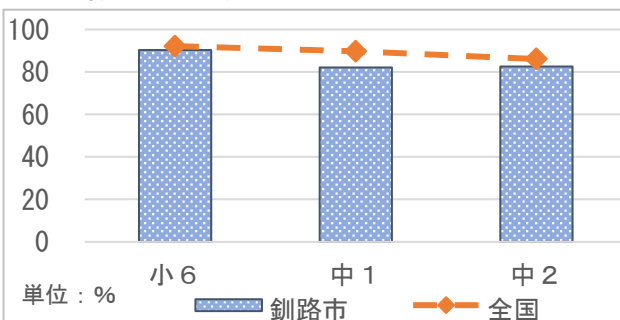
54 国語の授業では、きちんとノートをとっている



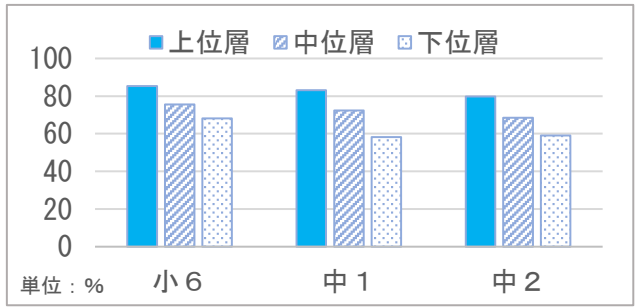
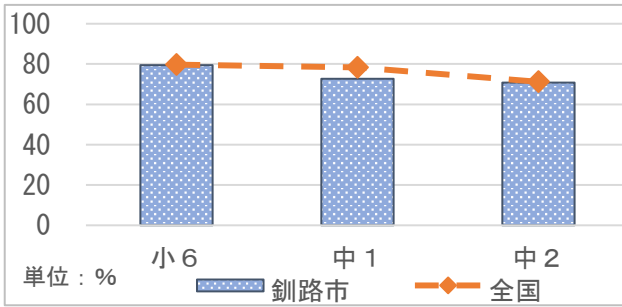
55 国語の授業は、分かって（理解して）いる



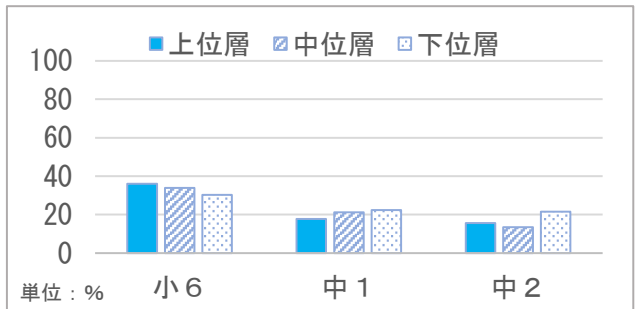
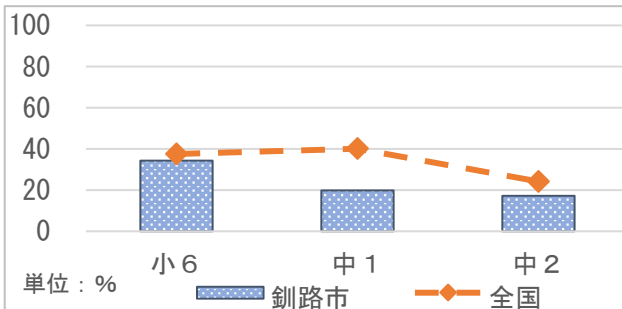
56 国語の宿題は、きちんとしている



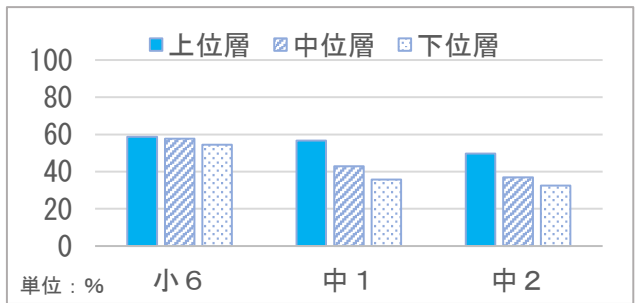
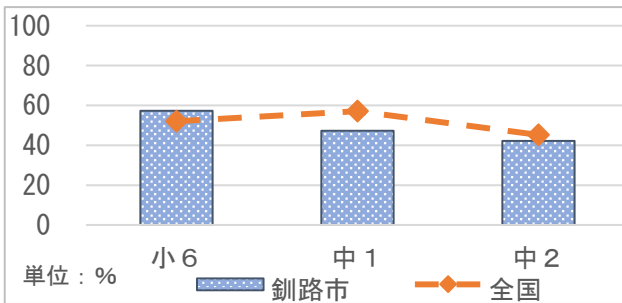
57 返された国語の答えは、見直しをしている



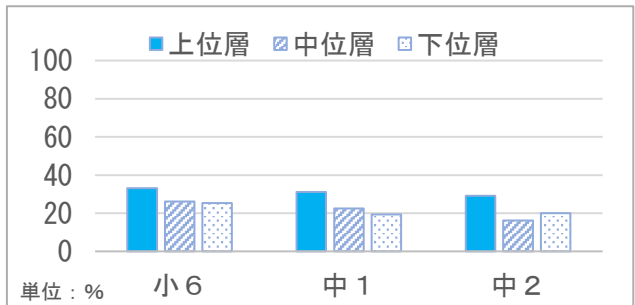
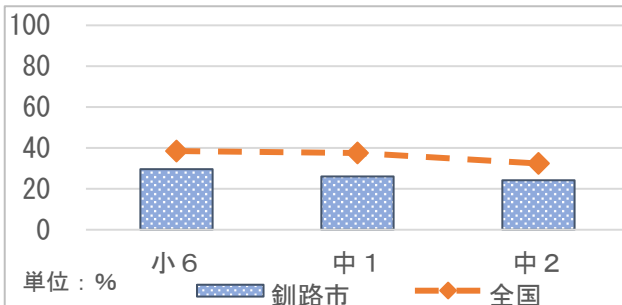
58 国語の授業のために、予習をしている



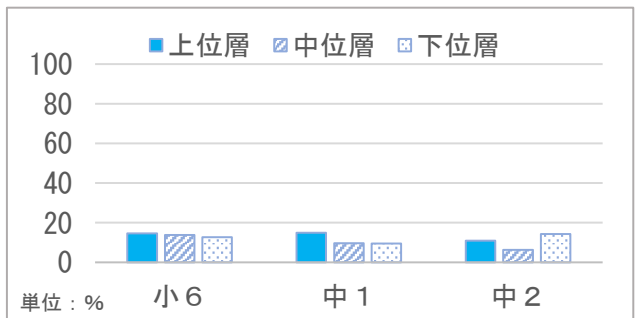
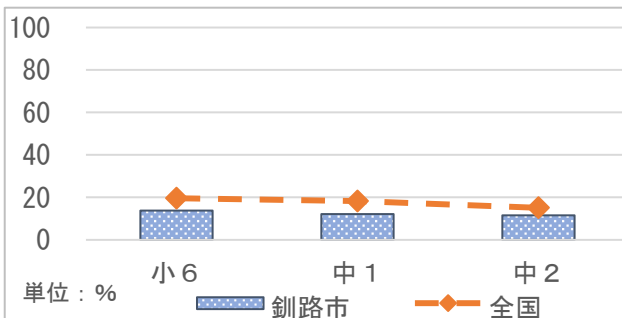
59 国語の授業で習ったことは、復習をしている



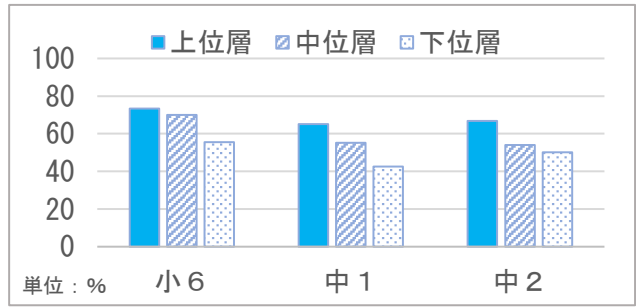
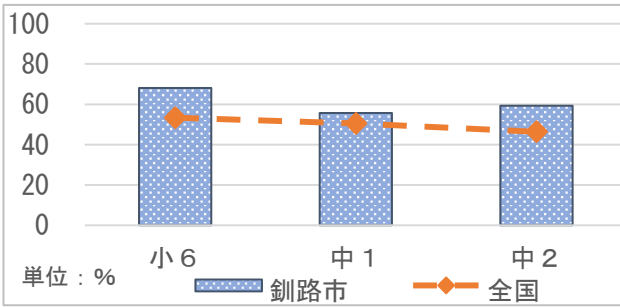
60 クロスワードなど、言葉を使ったパズルで遊ぶことがある



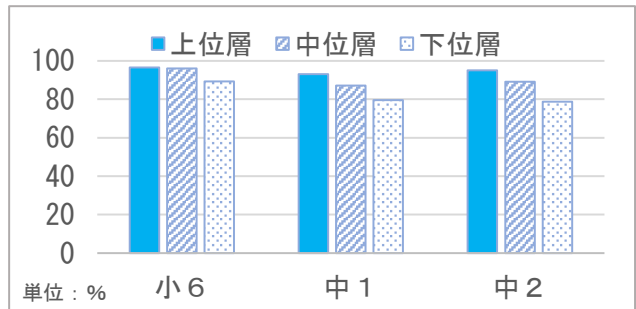
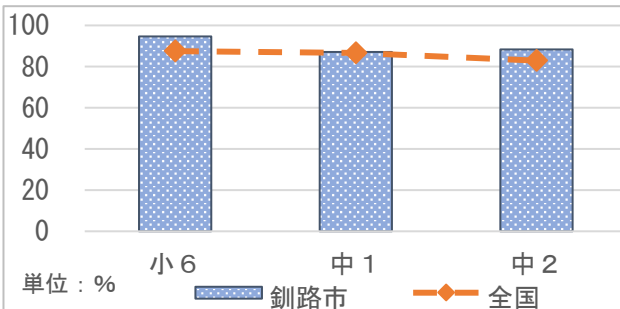
61 新聞記事などを、自分の考えと比べながら読んでいる



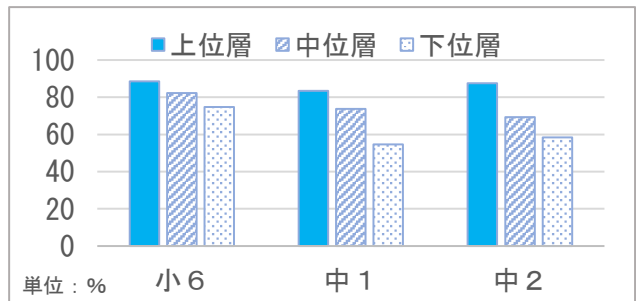
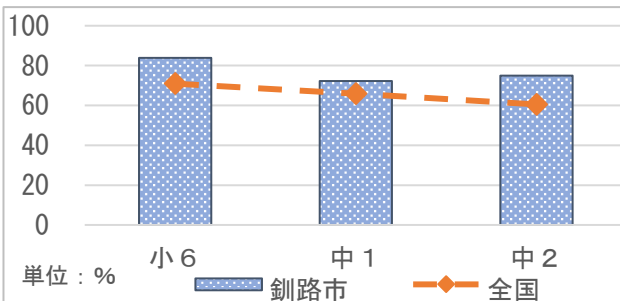
62 話し合いで、自分の考えを積極的に話している



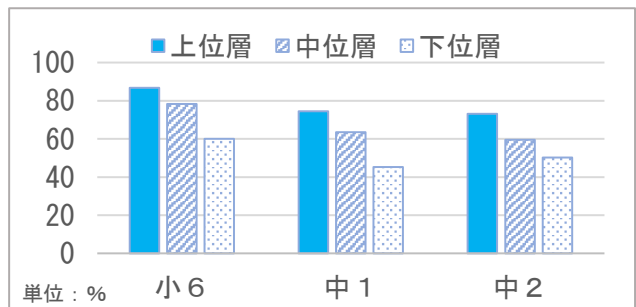
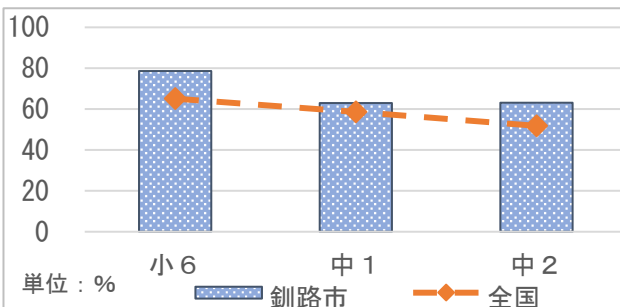
63 話し合いで、相手の話をしっかり聞き取っている



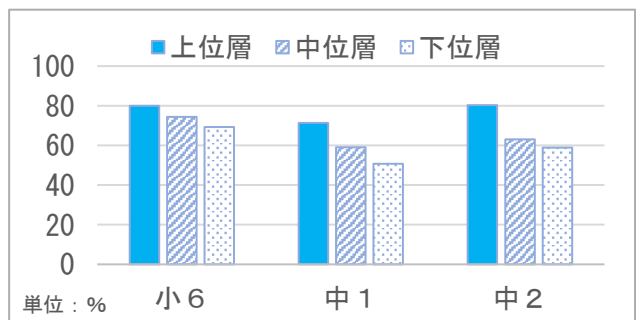
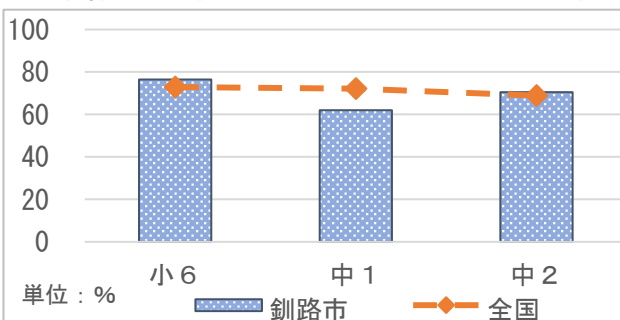
64 伝えたいことを明確にして、文章を書いている



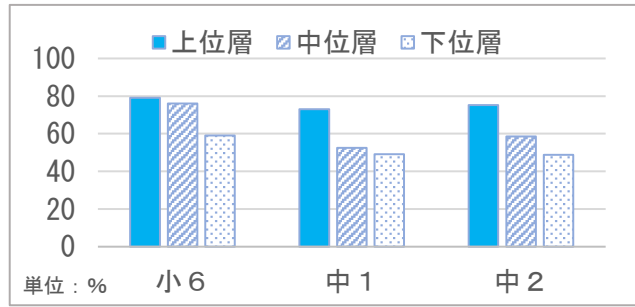
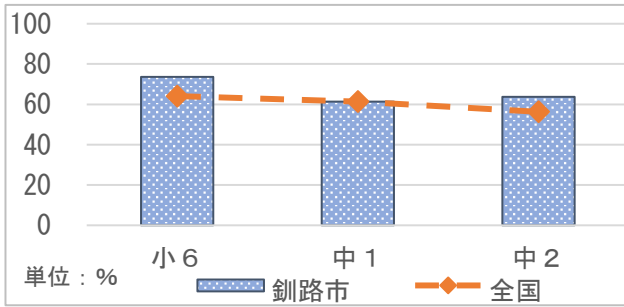
65 改行などの形式（論理や構成）を工夫して、文章を書いている



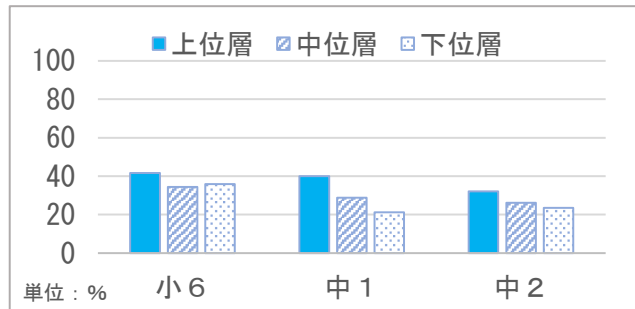
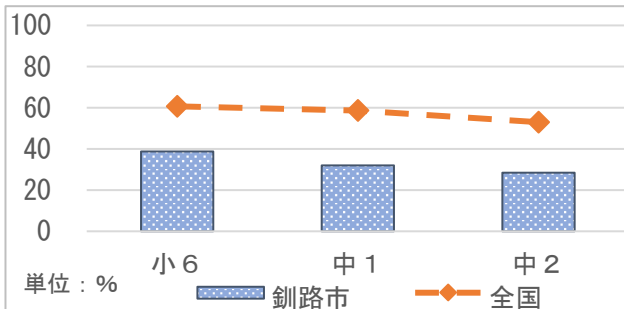
66 物語などを、主人公の気持ちを思いながら読んでいる



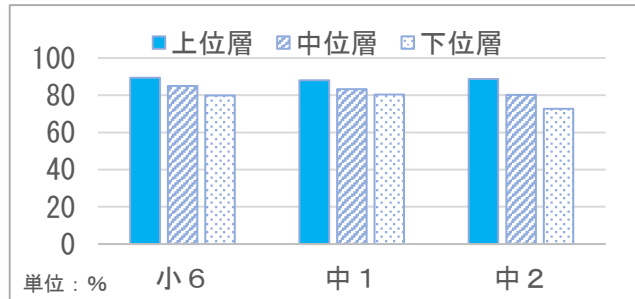
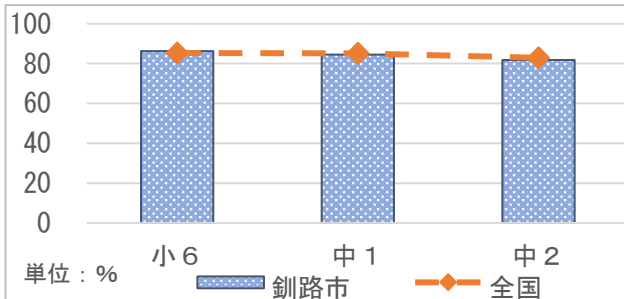
67 説明文などを読んで、筆者の言いたいことを考える



68 分からない言葉があれば、辞書を引いている



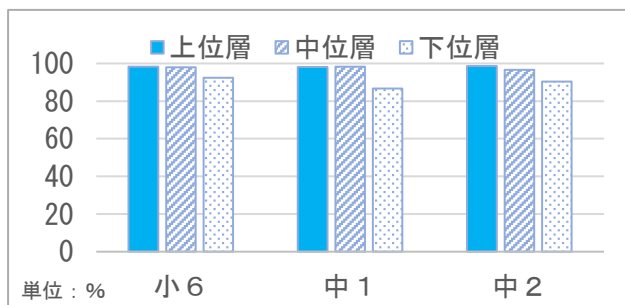
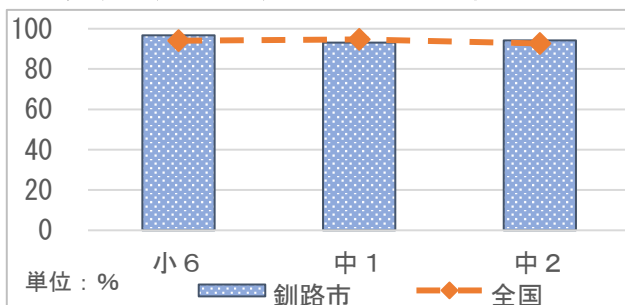
69 文章を書くときは、覚えた漢字を使っている



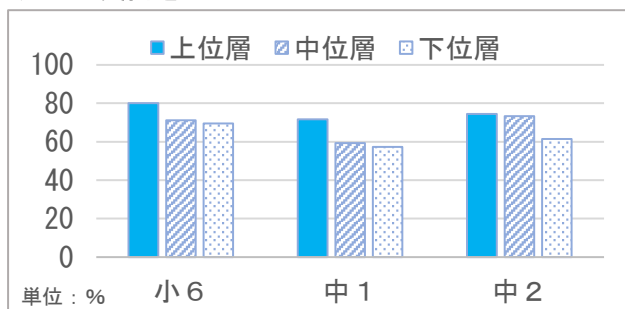
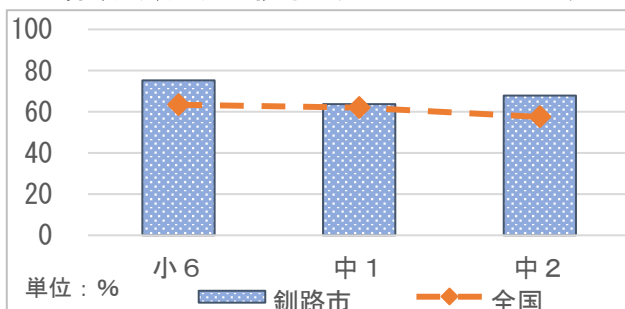
(3) 学習活動（算数・数学）に関する項目

70 算数（数学）の授業では、先生の話をしっかり聞いている

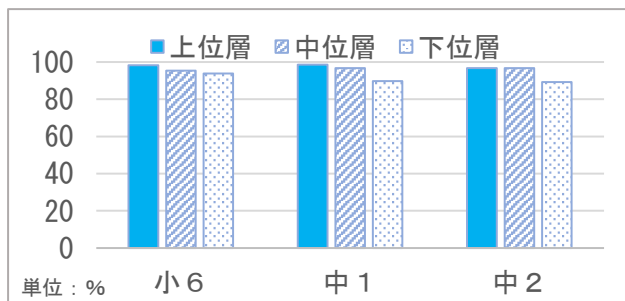
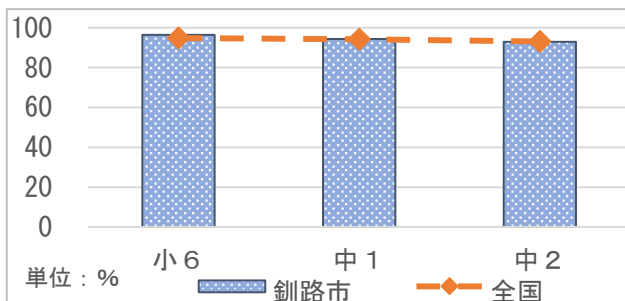
<クロス集計>



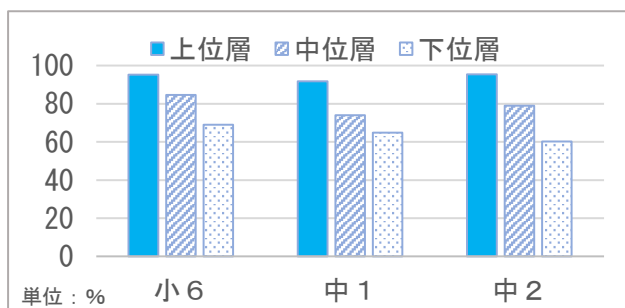
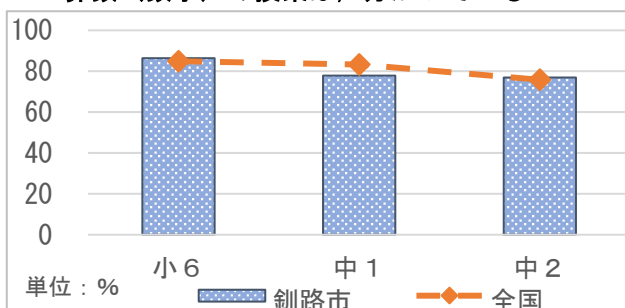
71 算数（数学）の授業で分からないことがあれば、先生に質問をしている



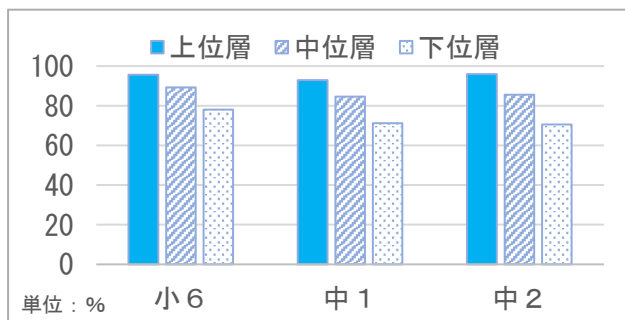
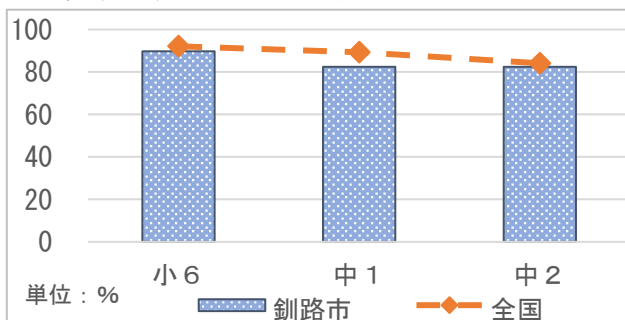
72 算数（数学）の授業では、きちんとノートをとっている



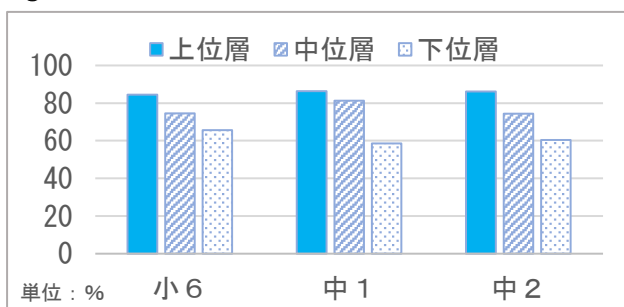
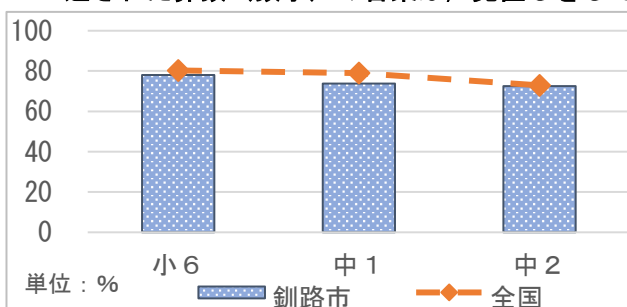
73 算数（数学）の授業は、分かっている



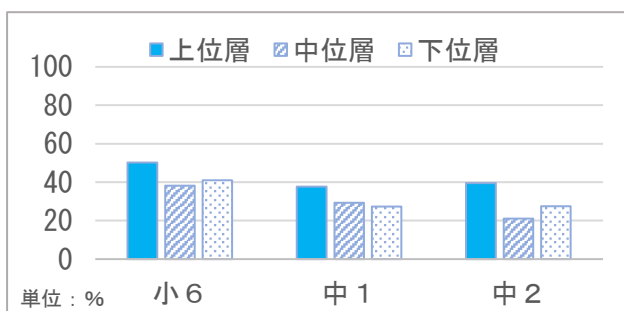
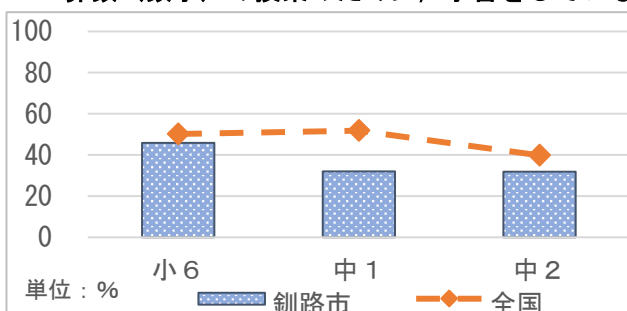
74 算数（数学）の宿題は、きちんとしている



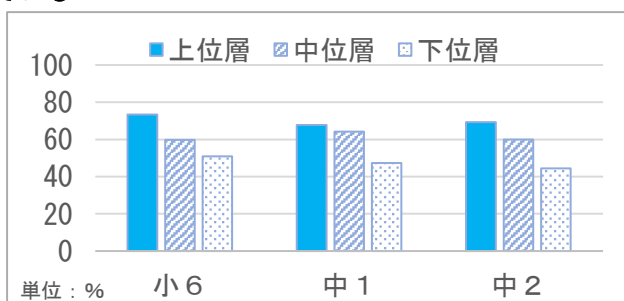
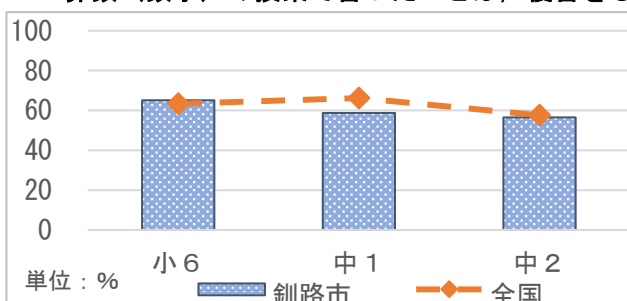
75 返された算数（数学）の答えは、見直しをしている



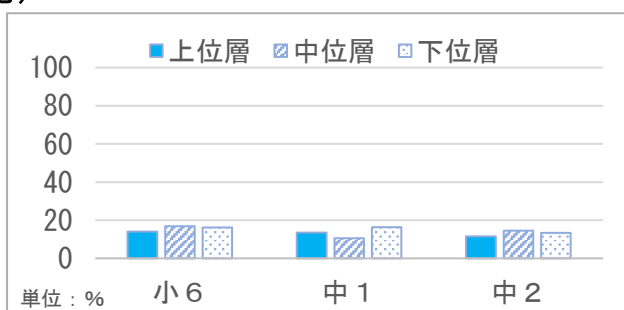
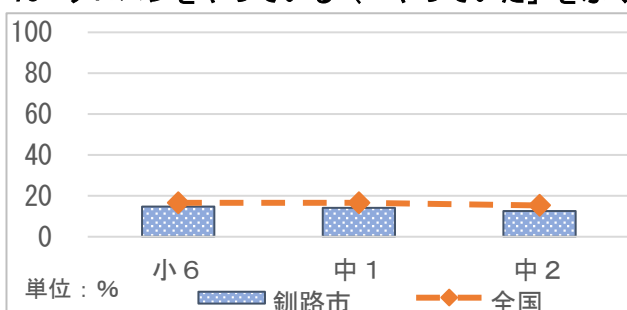
76 算数（数学）の授業のために、予習をしている



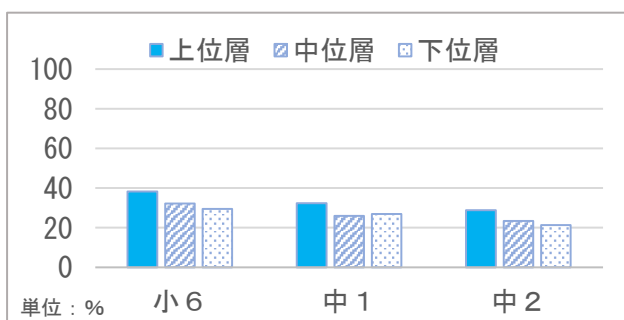
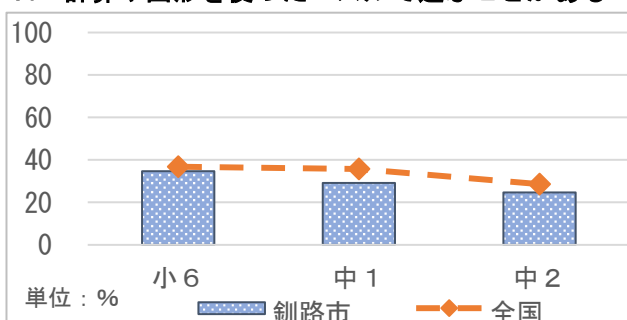
77 算数（数学）の授業で習ったことは、復習をしている



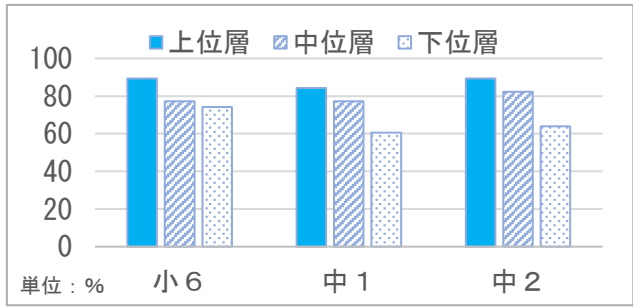
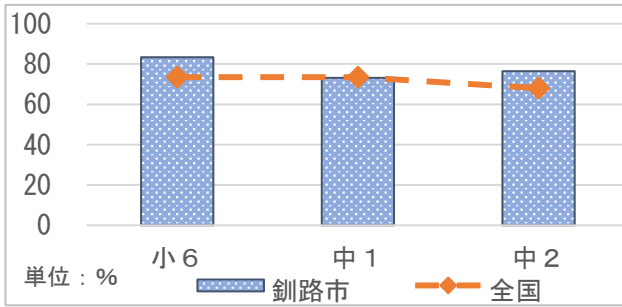
78 ソロバンをやっている（「やっていた」をふくむ）



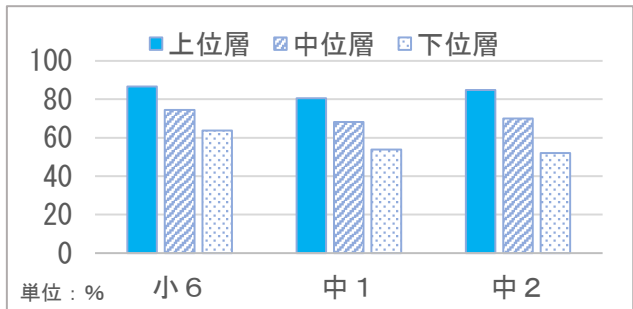
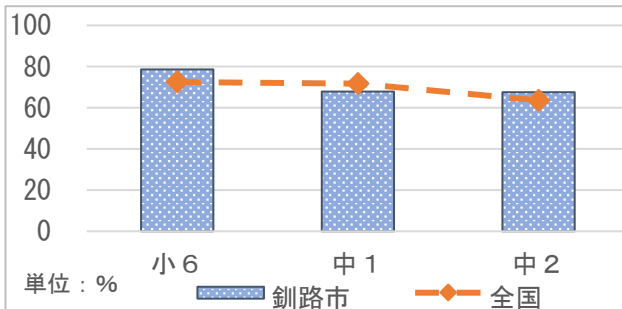
79 計算や図形を使ったパズルで遊ぶことがある



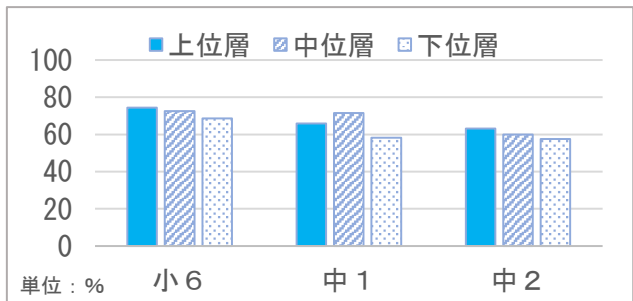
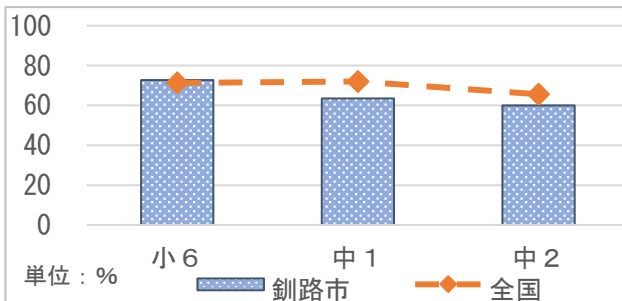
80 問題を解くときは、以前解いた方法が使えるかどうか考えている



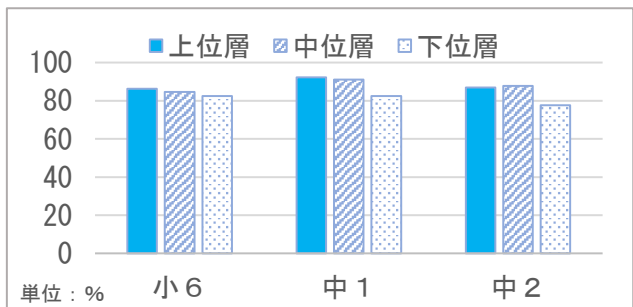
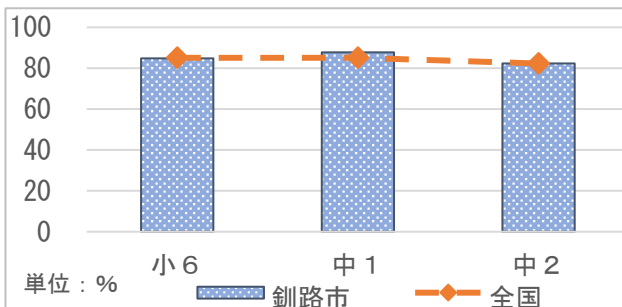
81 文章問題は、式や図に置きかえて考えている



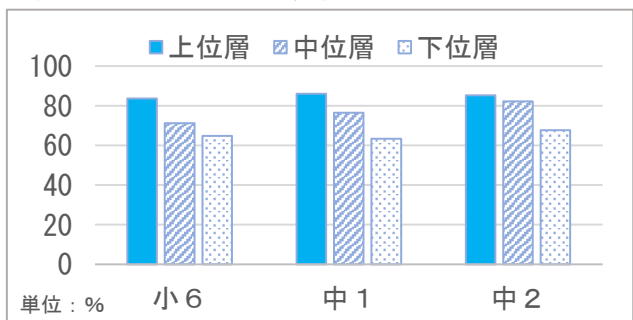
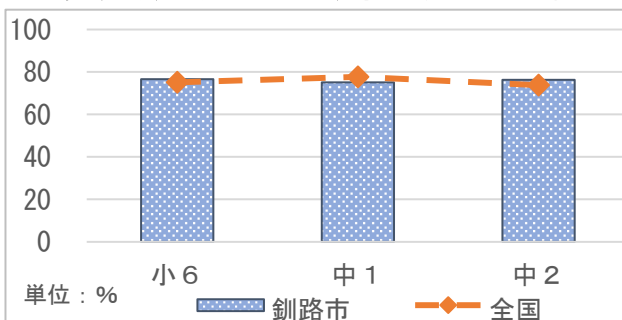
82 計算式は後から見て分かるように、正しくきれいに書いている



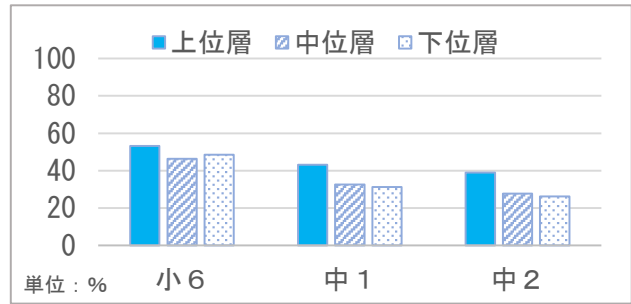
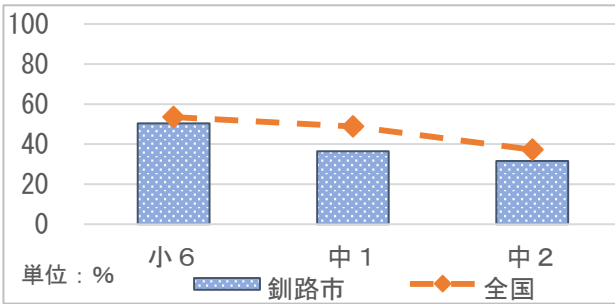
83 図や表をかくときは、定規などを使って正しくきれいにかいている



84 算数（数学）のテスト勉強をするときは、大事な部分がどこかを考えて勉強している



85 算数（数学）で学習した知識（公式・法則など）を家の人（友だちをふくむ）に話している



IV 本市の主な傾向（生活行動・学習活動調査結果より）

- 質問項目 2 1 「地域の行事に参加している」の質問について、肯定的に回答した児童生徒の割合は、いずれも全国平均を下回っている。また、質問項目 4 4 「自分が住んでいる地域が好きである」の質問について、学年が上がるほど下降する傾向が見られる。地域社会とのつながりに課題が見られることから、今後、関係機関との連携を一層強化し、地域の人々の「生き方」に触れ、子供たちの「このまちで生きる」という意識を基盤とした、ふるさとキャリア教育の視点に基づく総合的な学習の時間の充実が必要である。
- 質問項目 2 3 「本（マンガや雑誌をふくまない）を読んでいる」の質問について、肯定的に回答した児童生徒の割合は、全国平均を下回っており、読書習慣の定着に課題が見られる。また、成績層とのクロス集計を見ると、上位層の児童生徒ほど肯定的に答えている割合が高い傾向が見られ、学校における読書活動の充実が必要である。
- 質問項目 3 8 「勉強にパソコン（インターネットをふくむ）を利用している」の質問については、小・中学校ともに全国よりも高い頻度で活用している傾向が見られており、今後、児童生徒の資質・能力の育成につながる端末の利活用の在り方について研修のより一層の充実を図っていく。
- 質問項目 4 2 「普段（月曜日から金曜日）の学校の授業時間以外に勉強する時間」について、「30分未満」または、「ほとんどしない」と回答した児童生徒の割合は、学年が上がるにつれて増加する傾向があり、中学2年生では全体の約50%に達していることから、家庭学習の習慣化を図る取組を強化していく必要がある。
- 質問項目 5 9・7 7 「授業のために復習をしている」の質問について肯定的に回答した児童生徒の割合は、中学1年生で国語、数学ともに全国平均を下回り、小学校段階との差が大きくなっている。小・中学校が連携して学校の授業と家庭学習の接続について工夫していく必要がある。
- 質問項目 6 4 「伝えたいことを明確にして、文章を書いている」、質問項目 6 5 「改行などの形式（論理や校正）を工夫して、文章を書いている」の質問について、肯定的に回答した児童生徒の割合は、いずれも全国平均を上回っており、「書くこと」における目的や意図に応じて推敲したり、表現を工夫したりする授業改善の一層の充実を図っていく。

〔釧路市が目指す授業〕

子供たちが主役の 「学ぶ意味と学ぶ楽しさを 感じられる授業」

令和の日本型学校教育

「個別最適な学び」と
「協働的な学び」の
一体的な充実



学習指導要領

主体的・対話的で深い学びを
実現する授業

子供たちが主体的に学ぶ

子供たちが多様な他者と関わりながら学ぶ

子供たちが確かな学力を身に付ける

釧路市が目指す授業



子供たちが主役の 「学ぶ意味と学ぶ楽しさを 感じられる授業」

協力し合い

新たな学びや教材との出会い

相手意識



励まし合い

学び合い



キーワード

認め合い

「あい」あふれる授業の展開



教え合い

助け合い

○○愛

話し合い

私(I)は～

相づち
〔なるほど〕等

高め合い

聴き合い